

MR. 2525/RTV.

憲法原論目錄

第一編 汎論

第一章 國家

第二章 憲法附行政法

第三章 憲法ノ分類

第四章 政體

第五編 統御ノ主體及ヒ其機關

第五章 君主法律上ノ地位

第六章 君主ノ統治權

第七章 君主繼承及ヒ踐祚並ニ即位

同 丁

七 丁

八 丁

一〇 丁

一 丁

同 丁

一八 丁

二一 丁



7.177/252824

第八章 官府

二

二五丁

第九章 官吏

二六丁

第十章 國會ノ性質

三二丁

第十一章 國會ノ權限

三九丁

第十二章 國會ノ事務執行ノ規則

四四丁

第十三章 國家ノ作用

五二丁

第三編 立法

五三丁

第十四章 法律

同丁

第十五章 勅令

五七丁

第十六章 法律ノ效用

五九丁

六十八

第四編 行政

六十九

六五丁

第十七章 行政ノ本義

同丁

第十八章 行政ノ實行

七二丁

第十九章 司法

七六丁

第二十章 行政ノ岐分

七九丁

憲法原論目錄終

憲法原論目錄

三

憲法原論

法學士 大津麟平 講義

第一編 汎論

第一章 國家

世に憲法ヲ講スル者多シハ先ツ第一ニ憲法トハ如何ナルモノナルカ其解釋定
 義ヲ與フルヲ以テ一定ノ順序ト爲セリ然レトモ憲法ナルモノハ國家ノ憲法ニ
 シテ國家ナクシテハ憲法アルコト無シ切ニ之ヲ言ヘハ國家ハ憲法ノ建設ナル可
 キ基礎ナリ故ニ憲法ノ何タルヲ知ラント欲セハ先ツ國家トハ如何ナルモノナ
 ルカ之ヲ了解セサル可カラズ因リテ余ハ國家ニ關シテ少シク叙述スル所アラシ

憲法原論

ト欲ス

凡ソ人類相集合シテ獨立ノ政治社會ヲ組織シ生存ノ動作ヲ爲スモノナリルニ
千種萬様ノ機關ヲ備ヘ其雜繁多ノ動作ヲ爲セリ然レトモ此等各種ノ機關其動
作ヲ爲スニ當リ毫モ單獨隨意ノ運動ヲ爲シテ相衝突軋轉スルカ如キ事ナク各
機關相互ニ唇齒輔車ノ關係ヲ以テ同一ノ方向ニ運轉セリ斯ノ如ク幾多ノ機關
相合同一致シテ同一方針ニ向ヒテ圓滑ニ運轉スル所以ノモノハ何ソヤ是他ナ
シ各機關ノ上位ニ立テテ之ヲ統御左右スル單一ノ力存在スレハナリ此力ヲ名
ツケテ國家學上「國家」ト云フ

故ニ國家學上ニ於テ國家ト稱スルモノハ吾人ノ肉眼ニ影スル國土ノ謂ニ非ス
又其國土上ニ生存スル人類若クハ人類ノ團結セル社會ノ謂ニ非スソテ實ニ獨
立ノ國民ト國土ノ表面ニ立テテ之ヲ統一支配スル最上無限ノ權力ヲ云フ是ナ
國家ナル語ニ附着スル一般ノ觀念トス

今茲ニ所謂最上トハ外部ヨリ權力上ノ制限ヲ受ケタルコトヲ意味スルモノニ
シテ即チ他ノ權力ノ下ニ立タストノ意ナリ然ラハ權力上ノ制限トハ何ソヤ蓋

此ニ故ラニ權力上ノ制限ト云フ所以ノモノハ自然ノ制限若クハ德義上ノ制限
ヨリ區別セシカ爲メコシテ綜合自然若クハ德義上ノ制限ヲ受ケルコト有ルモ
權力上ノ制限ヲ受ケルコト無クハ最上ノ權力タルニ於テ妨ケル所ナク然ラ
ハ更ニ問ハシ權力トハ何ソヤ自ラ權力トハ自家獨立ノ意思ヲ以テ他ヲ掣肘未
制スルノ力ナク云フ

以上説ク所ハ國家ニ關スル解釋ナリ然レトモ此他尙ホ學者ニ由リ種種其註釋
ナ異ニセリ或ハ國家ヲ以テ生活機關ヲ備ヘタル有機體ナリト云ヒ或ハ國土人
民ノ合同體ナリト云ヒ又或ハ一个ノ法人ナリト云ヘリ然リ而シテ國家ナル觀
念ハ憲法學上忽ニス可カラサルヲ以テ今左ニ此等ノ諸説ヲ概陳シ以テ以上陳
ヘ來リタル解釋ト相對照シ其間ニ如何ナル差別ノ存スルカヲ究メント欲ス
第一國家ハ生活機關ヲ備ヘタル有機體ナリトノ説

此説ノ要點ヲ概言セシニ國家トハ自家固有ノ發生力並ニ固有ノ意思ヲ有スル
團體ニシテ其發生力ト意思トヲ以テ絶ヘス生長發育シ其天賦ノ職分ヲ盡スモ
ノナリ而シテ此團體ノ各部分即チ各機關ハ各箇固有ノ意思ニ依リテ運轉スル

ト雖モ國家全體ノ意思ニ背反矛盾スルコト無ク團體本部ノ意思ト各機關ノ意思ト相一致和合シテ始メテ全體ノ運動ヲ圓滑ナラシムルモノナリ之ヲ要スルニ國家ハ自己ノ意思ト其能力コ因リ自ラ發達進歩シテ外外部ノ力ヲ借ラテ運動スルモノニ非ストノ意ナリ是第一說ノ要點ナルカ其社會自然ノ情態ヲ穿テ其真相ヲ若破シタル點ニ於テハ大ニ見ル可キモノ有リト雖モ之ヲ以テ法律上満足ス可キ解釋ナリト云フニ至リテハ未ダ容易ニ首領ス可カラサルナリ

第二國家ハ國土ト人民トノ合同體ナリトノ說

此說ノ畧ニ曰ク國家ハ一定ノ境土ニ占居セル人民ノ團體ナルカ故ニ國家ノ要素ハ之ヲ二個ニ分ツコトヲ得ヘシ即チ國土及ヒ人民ノ團體是ナリ然リ而シテ此ニ所謂人民ノ團體トハ單ニ人民ノ集合ヲ意味スルニ非スレテ政治上ノ團結體即チ國民ト云フノ意ナリ何トナレハ若シ單ニ人民ノ集合ヲ意味スルモノナリトセハ彼ノ世間ニ碁布林立セル某史學會某文學會若クハ何會社何協會ノ如キ無數ノ集合體モ一定ノ土地ヲ有スルトキハ亦國家ト云ハサルヲ得サレバナリ豈此ノ如キ咄咄怪事アラフヤ故ニ此說ニ所謂人民ノ團體トハ政治上ノ團結

體タルコト論ヲ俟タス今此說ヲ取リテ余カ最前ニ述ヘタル國家ノ釋義ト比較對照スルトキハ彼レハ國家ヲ以テ無形ノ權力ナリトシ此ハ國家ヲ以テ有形ノ團體ト爲セリ其相去ルコト遠シト謂フ可シ

第三國家ハ一个ノ法人ナリトノ說

此說ニ謂フ所ノ法人トハ勿論民法上ノ法人ト同意義ニ非ス民法上ニ於テ法人ト云フトキハ財產ノ主體ヲ指スモノナリト雖モ此ニ謂ヘル法人トハ權力ノ主體行為意思ノ能力ヲ備ヘタルモノナク云フ此第三說ハ余ノ最初ニ陳ヘタル釋義ト大ニ相類似スルモノ有リ唯其相異ナル所ハ前者ハ權力自身ヲ以テ國家ト名

ツケ後者即チ此第三說ハ權力ノ主體ヲ以テ國家ト稱スルコト是ナリ
以上列舉セル三个ノ異說及ヒ最初ノ一說ヲ併セテ比較參考スルトキハ容易ニ其間ニ存スル差異ヲ摘發スルヲ得ヘシ然レトモ此等ノ諸說中其孰レカ果シテ是ニシテ孰レカ非ナルカヲ斷定スルコトハ蓋容易ノ業ニ非ス唯何レノ說ニシテモ其說ニ依リテ以テ固ニ能ク國家ニ於ケル種種ノ關係ヲ説明シ終ニテ得ハ是即チ正ヲ得タルモノナリ故ニ各說ノ是非善惡ヲ論斷セント欲セハ須ラク全

豹ヲ掬スルノ後ニ於テス可シ未タ俄ニ速断ス可カザルモノ有リ然レトモ余ハ最初ニ叙述シタル解釋ヲ以テ最モ能ク國家ニ關スル各種ノ關係ヲ說明シ得ヘシト信スルヲ以テ暫ク該說ヲ採用シ進ミテ憲法上ノ說明ニ移ラント欲ス主權ナル語ハ常ニ人ノ稱呼スル所ナリ而シテ此語ノ真義タル最上無限ナル政事上ノ權力ヲ意味スルニ外ナラス故テ以テ主權ナルモノハ公義輿論等ニ因リ德義上ノ制裁ヲ蒙ルノ外復タ法律制度等ニ由リ毫モ制限ヲ受ク可キモノニ非サルナリ而シテ此主權ハ實ニ吾人ノ稱フル所ノ國家ノ至要ノ性質ヲ爲スモノナリ

夫レ然リ故ニ一度國家ナル語ヲ用フル以上ハ茲ニ主權アルコトヲ知ラサル可カラズ即チ國家ト主權トノ二者ハ到底相分離シ能ハサルコト勿論ナレハ國家ハ法理上ニ在リテハ一トシテ爲シ能ハサルモノ有ルコト無ク若シ價值些些ナル事タリト雖モ其行爲ニ制限アラフニカ是吾人ノ稱呼スル所ノ國家ニ非サルナリ
以上予カ講述シ來リタル所ヲ概言セハ國家ハ畢竟統御ノ本體ナリト云フニ外

ナラス例ヘハ君主國ノ如キ君主ハ即チ統御ノ本體ニシテ其身ハ即チ國家ナリ

第二章 憲法附行政法

憲法ナル語ニハ廣狹ノ二義アリ即チ廣義ニ於ケル憲法ナル意義ハ國家高權即チ最上無限ノ權力ノ歸スル所及ヒ其行使ニ關スル法規ノ總合ヲ云フナリ更ニ之ヲ詳言セハ即チ國家高權ハ何者ニ屬スルヤ及ヒ其高權ハ如何ナル規定ニ依リテ行使セラル可キヤヲ定ムル該規則ノ總體ナリト云フニ在リ

之ニ反シテ狹義ニ於ケル憲法ナル語ノ真意ハ即チ以上陳述セル廣義ノ憲法ニ於テ定ム可キ事項ノ全部或ハ少ナクトモ其要領ヲ攝ケタル一國制定ノ法規ヲ意味スルモノトス

此ノ如ク憲法ニ依リテ已ニ高權ヲ行使ス可キ大體ノ規律ハ一定セリト雖モ其之ヲ實施シ人民ニ向ヒテ之カ效力ヲ及ホシ以テ國家ノ目的ヲ到達セントスルニ至リテハ果シテ何人ナシテ其任ニ當ラシム可キヤ及ヒ其實施ノ方法ハ如何ニ之ヲ處シテ可ナルヤ等ニ付テハ憲法以外更ニ詳細ナル規則ヲカスル可カラズ

其詳細ナル規則ノ總體ヲ稱シテ行政法トハ云フナリキレハ行政法ナルモノハ
 一ニ必ス憲法ニ準據ス可ク毫モ之ニ矛盾ス可カラサルナリ
 以上余ハ憲法及ヒ行政法ノ意義ニ付キ其梗概ヲ説了セルヲ以テ更ニ章ヲ改メ
 ソトスルニ當リ此ニ憲法ト國家トノ關係ニ付キ一言セシニ憲法ナルモノハ到
 底國家ノ下位ニ屬ス可キモノニシテ敢テ之ヲ以テ國家ヲ制限シ得ヘキモノニ
 非ス恰モ他ノ法律規則カ國家ノ保護ニ依リテ其效力ヲ維持スルト一般憲法モ
 亦國家ノ保護ニ依リテ其效力ヲ維持スルモノニ外ナラス詳言セハ憲法ハ國家
 ニ依リテ成立スルモノニシテ國家ハ憲法ニ依リテ成立スルモノニ非ス故ニ國
 家ハ時ニ憲法ヲ左右スルコト有ル可シト雖モ憲法ハ敢テ國家ヲ制限シ得ヘキ
 モノニ非ス只憲法ヲ以テ制限ヲ加ヘ得ヘキモノハ國家ノ諸機關ト及ヒ臣民ア
 ルノミ

第三章 憲法ノ分類

是ヨリ余カ一言セントスル憲法ノ區別タル左マテ要用ニ非スト雖モ世人ノ常

ニ稱呼スル所ナルヲ以テ左ニ之ヲ略言セン即チ學者ノ區別セルモノハ

第一 成文憲法 不成文憲法

成文憲法トハ即チ憲法ノ全部カ一編ノ法典ヲ爲セルモノヲ云ヒ不成文憲法トハ
 單ニ習慣法ヨリ成立セルカ又ハ或ル一部ハ習慣法ニシテ他ノ一部ハ明文ト成
 レルモノトノ二者相合シテ成立セルモノヲ云フナリ即チ英國憲法ノ如キハ古
 來ノ慣習君民ノ條約成文律例等ヨリ成立スルモノニシテ其一部ハ即チ成
 文ヲ爲セリト雖モ其全部盡ク成文ニ非サルヲ以テ即チ不成文憲法ニ屬スルモノ
 ナリ

第二 積成憲法 制定憲法

積成憲法トハ邦國ノ沿革ニ基キ漸次歴史的ニ發生シタルモノヲ云ヒ制定憲法
 トハ格段ナル時期ニ於テ一時ニ制定シタルモノヲ云フナリ而シテ其之ヲ成定
 シタルモノ君主ナルトキハ之ヲ欽定憲法ト云ヒ之ニ反シ人民之ヲ制定シタル
 トキハ稱シテ民定憲法ト云フナリ

第三 固定憲法 不定憲法

憲法原論

固定憲法トハ之カ制定變更廢止等ノ方法總テ一般ノ法律ト異ナルモノナリ云ヒ
不定憲法トハ此等ノ事總テ一般ノ法律ト同等ナルモノナリ云フナリ

第四章 政體

政體ノ如何ヲ定ムルニハ國家高權ノ歸スル所那邊ニ在ルヤ換言セハ統御ノ主
體ハ果シテ何者ナルヤチ省ミルヲ以テ捷路トス而シテ法理上ヨリ云フトキハ
其如何ナルモノニテモ斷然君主政及ヒ非君主政ノ二個ニ區別スルヲ得ヘシ統
御主體君主ニシテ國家即チ君主ト同一體ナルトキハ稱シテ之ヲ君主政體ト云
ヒ君主ト國家ハ別體ナルトキハ之ヲ非君主政體ト云フナリ
今諸君ノ參考ニ供セン爲メ古來學者ノ能ク鑒用セル政體ノ區別ヲ畧述センニ
其分類方法抄ナカラスト雖モ就中アリストリトル氏ノ分類ハ古來最モ普通ニ
行ハレタルモノナレハ之ヲ左ニ示サムニ氏ハ即チ主權ヲ掌握スル人數ノ多寡
ニ據リテ以テ區別ノ標準ト爲セルモノナリ

一 君主政治(モノナルキ)

二 豪族政治(アリストクラシー)

三 衆民政治(デモクラシー)

氏ハ政體ヲ區別シテ右ノ三者トシ若シ又此等政體ニシテ弊ヲ生ゼタルトキハ
更ニ別名ヲ附セ

一 專制政治(デスポチズム)

二 寡人政治(オリガルキ)

三 平民政治(オシロシラシー)

ト稱セリ而シテコハ一般學者ヲ採用シタルモノナルコト今ヤ此ノ如キ分類ノ名
稱ニ換フルニ君主政治及ヒ共和政治等ノ名稱ヲ以テスルニ至レリ假ヘハ君主
唯一人主權ヲ握ルトキハ是君主政治ニシテ若シ主權ヲ掌握スルモノ二人若ク
ハ二人以上ナルトキハ之ヲ共和政治ト云フナリ

第二編 統御ノ主體及ヒ其機關

第五章 君主法律上ノ地位

憲法原論

君主法律上ノ地位ハ其政體ノ君主政體ナルト非君主政體ナルトノ別ニ由リテ
差異アリ故ニ予ハ先ツ君主國ニ於ケル君主ノ地位ヲ講説シ次ニ非君主國ニ於
ケル君主ノ地位如何ヲ論セントス

第一 君主國ニ於ケル君主ノ地位

法理上所謂君主國トハ君主即チ國家ナル邦國ヲ云フ是ヲ以テ最高ノ權ハ固
リ君主手ヲ之ヲ掌握セルヲ以テ其權力ノ點ヨリ云フトキハ君主ハ實ニ最高等
ノ地位ニ在リテ復タ他ノ權力ノ之ニ拮抗シ得ヘキモノ有ラス換育セハ法理上
毫モ他ノ權力ヨリ制限ヲ受クルコト有ラス此カ結果トシテ君主其人民ニ對シ
テハ勿論其邦國內ニ在リテハ假令何者ニ對スルモ絶ヘテ法律上ノ責任ヲ負擔
セサルナリ是即チ法理上所謂君主國ニ於ケル君主ノ眞面目ナリトス
此ノ如ク君主ハ即チ國家ニシテ兩者ハ即チ同一體ナルカ故ニ君主ハ國家ヲ代
表スル等ノ語ヲ生ス可キ理由ナリ從ヒテ又國主ハ國家ノ首長ナリ等ト稱ス可
キモノニ非サルナリ

世上ノ論者動モスレハ曰ク立憲君主國ニ於ケル君主ハ必ス憲法ニ據リテ制限

ヲ受ク可キモノナリト若シ夫レ論者ノ所謂君主國トハ法理上ノ眞正ナル君主
國ニ非スシテ君主ハ即チ眞正ノ君主ニ非ス他ノ權力ノ下位ニ在ル者ナラシム
ハ論者ノ言或ハ其當ヲ得ヘント雖モ若シ論者ノ意タル一旦憲法ヲ制定シテ立
憲國トナリタル以上ハ假令君主國ト雖モ其君主ハ亦憲法ノ制限ヲ受ケサル可
カラストノ意味ナランニハ予輩敢テ其論ノ法理ニ適シタルモノナレトコトヲ認
ムル能ハサルナリ何トナレハ元來憲法ナルモノハ國家力之ヲ制定若クハ認定
セタルモノニシテ其效力ノ如キ亦之ヲ國家ヨリ受ケタルモノニシテ其運命ス
ラ國家ニ因リテ左右シ得ラル可ク到底國家ノ下位ニ屬ス可キモノナレハナリ
夫レ然リ故ニ憲法ハ決シテ國家ノ權内ニ侵入シ其行爲ヲ制限シ得ヘキノ理ア
ル可カラス何トナレハ君主國ニ於テハ君主自身ハ即チ憲法ノ上位ス可キ國
家其者ナレハナリ

此ノ如ク憲法ハ君主即チ國家ニ因リテ其生命ヲ保テ效力ヲ維持スルモノナリ
而シテ此憲法ハ畢竟君主カ統治ヲ爲スニ付テ要スル一个ノ道具タルニ過キス
故ニ此點ヨリ考フルモ到底憲法ヲ以テ君主ノ行爲ヲ制限スル能ハサルコト明

憲法原論

白ナリト謂フ可シ然ルニ若シ憲法ニテ君主ノ行為ヲ制限シ得ヘト假定セ
 日制限トハ即チ權力ヲ以テ他人ノ行為ヲ檢束スルトノ謂ニ外ナラサルヲ以テ
 此場合ニ於テハ憲法ハ君主ヨリモ更ニ高等ノ權力ヲ具有セルモノナリト謂ハ
 サル可カラズ從ヒテ此ノ如ク廣大ナル權力ヲ與ヘンニハ更ニ又君主ニ優ルノ
 權力ヲ有スル者アリテ之ヲ付與セタルモノナラン果シテ然リトスレハ已ニ其
 君主ハ法理上所謂君主ニ非ス其國家ハ法理上ノ君主國ニ非サルナリ世上或ハ
 名チ立憲君主國ニ借ルモノ尠ナカラズト雖モ其實相ヲ探究スルトキハ真正ノ
 君主國ニ非サルモノ往往ニシテ之アルカ如ク故ニ此等ノ邦國ニ於テハ或ル論
 者ノ云フカ如キ現象アルナラン然レトモ此事タル余ハ後段之ヲ説明ス可キナ
 以テ此ニ之ヲ詳述セサル可シ

君主ハ侵ス可カラズトハ君主政ノ邦國ニ於テ必ス是認スルノ原則ナリ今法理
 上ヨリ之カ意義ヲ解セハ蓋權力ヲ以テ君主ニ加フ可カラズトノ意ナラン前來
 反覆講説スルカ如ク君主ハ即チ最高ノ主權者ナレハ之ニ加フルニ他ノ權力ヲ
 以テス可カラサルコト固ヨリ論ナキ所ナリ故ニ此原則ヲ實ニ正當ニシテ且最

君主ノ責任

モ尊重セサル可カラサルモノナリ若シ夫レ此原則ニシテ行ハレサラシカ其國
 家ハ之ヲ君主國ナリト謂フ可カラズ而シテ今若シ此原則ヲ貫徹シ以テ國家ノ
 關係ヲ講究スルトキハ君主國ノ實相彌歴然タルヲ得ヘキナリ

又此原則ニ基キ君主ハ無責任ナリト云ヘル第二ノ原則ヲ生ス此意タル君主ノ
 行為ハ實ニ自由萬能ニシテ假令何人ニ對スト雖モ其行為ニ付キ法律上ノ
 責任ヲ負フコト無シト云フニ在リ是亦實ニ然ル可キコトニシテ何レノ君主國
 ニ於テモ必ス嚴然存在スル所ナリ然ルニ説テ爲ス者アリテ曰ク君主ハ無責任
 ナリ然レトモ其行為ニシテ若シ憲法ニ違背スルトキハ大臣其實ニ任ス可シト
 此意タル蓋君主ハ憲法ニ背反スルノ所爲アル可カラズ若シ之アルニ於テハ君
 主ハ固ト無責任ナルヲ以テ大臣ヲシテ代リテ其責任ヲ任セシム可シトノ意ナル
 カ如シ若シ夫レ然ラシカ何シ其旨ノ曖昧茫漠トシテ且法理ヲ違サカルノ蓋シ
 キヤ大臣君主ニ代リテ其責任ヲ任ストハ既ニ君主ニ責任アルコトヲ認メタルナ
 リ即チ君主ハ責任ヲ負フ可キ本人ニシテ大臣ハ其代人ナリト云フニ非スシテ
 何シヤ果シテ然ラシニハ君主ハ其行為ニ付キ責任アル者ニシテ且侵サル可キ

憲法原論

者ナリト斷言セサル可カラサルニ至リ論者ノ所謂君主ハ無責任ナリトノ語トハ全ク相矛盾スルモノナリ然ラハ大臣ヲシテ其責ヲ負ハシムルハ實ニ理由ナキモノナルヤ否ヤ各國現ニ之ヲ實行セルモノハ他ニ如何ナル理由アリテ然ルヤト云フニ大臣カ責ニ任スルハ君主ニ代リテ然スルニ非ス自己ノ行為ニ對シテ責任ヲ負フノミ其責任ヲ負フモ人民ニ對シテ之ヲ負フニ非ス君主ニ對シテ之ヲ負フモノナリ通常大臣カ自己行為ニ付テ責任ヲ負フハ副署ニ據ルモノトス副署ハ法律命令ノ適法ナルコトヲ證明スルモノナリ然ルニ若シ已ニ發布タル法律命令ニシテ違法ノ點アルトキハ大臣ハ誤リテ副署シタルモノナルヲ以テ其行為ニ對シテ責任ヲ負フ可キハ當然ナリ

上來講述シタル所ノ要旨ヲ撮テ之ヲ述フレハ君主ノ位ハ最上ナリト云フニ外ナラス

第二 非君主國ニ於ケル君主ノ地位

非君主國ニ於テハ國家ト君主トハ一體ヲ爲サスレテ君主以外ニ國家アリ即チ君主ノ外ニ高權ノ主體アル無形ノ法人アリテ以テ君主ノ上ニ位スル者是國家

ナリ故ニ君主ハ其下ニ屬シ國家ヲ統御ヲ爲スノ機關タルニ過キス然レトモ是國家直接ノ機關ニシテ而モ最高等ノ機關ナリ換言セハ此場合ノ君主ハ國家中最高等ノ官吏ナリト云フナリ從ヒテ其權力ノ如キモ自己固有ノモノニ非スレテ全ク國家ヨリ之ヲ傳承セルモノナリサレハ君主ハ國家ヨリ制限ヲ受テ換言セハ君主ハ其行為ニ付キ一ニ憲法ヲ遵奉シ毫モ之ニ背反ス可カラス何トナレハ國家ハ憲法ヲ以テ國權ノ所在及ヒ分配ヲ定メ君主ハ之ニ依リテ國權ノ委託ヲ受ケ以テ之ヲ作用ス可キモノナレハナリ以上述フル所ニ由リテ國家憲法君主ノ位地ヲ約言セハ國家ハ最高等ニシテ憲法之ニ次キ君主ハ尙ホ其下ニ位スト云フモ大過ナシ故ニ非君主國ノ君主ハ常ニ憲法上ノ制限ヲ受テ憲法ニ依リテ束縛ヲ受クルノ點ニ於テ全然君主國ト相反ス是兩者ノ間互ニ君主タル元來ノ性質ヲ異ニスルカ故ナリ

此ニ又一言セサル可カラサルモノ有リ他ニ余カ此所ニ於テ所謂君主トハ法理上ノ真正ナル君主トノ謂ニ非サルコト是ナリ然ルニ余カ更ニ之ヲ君主ト稱スル所以ノモノハ世上往往上來述フル如キ地位ニ立アル國ノ首長ヲ稱シテ君

主ト云ヘルヲ以テ予モ亦講學上ノ便ヲ計リ暫ク之ヲ君主ト稱フルノミ他アルニ非サルナリ然ラハ此處ニ所謂君主ナル語ハ法理上大統領ト其位地ト同クニ兩者ノ間其差異ナキカ曰ク然リ大統領ハ即チ非君主國ノ君主ナリト云フモ大過ナキナリ然ルニ論者或ハ曰ク君主ハ自己固有ノ力ニ據リテ其位ニ即クモ大統領ハ之ニ反シ他力ニ依リテ其位ニ登ケラレタルモノナレハ此兩者ハ敢テ之ヲ混同ス可カラスト然レトモ予ノ考フル所ニ據レハ其差異タルヤ昔ニ歴史上ノ點ニ存シ全ク其位ヲ得ルノ手續ニ於テノ區別ナルノミ手續上ノ差ハ以テ法理ヲ動カシ得ヘキモノニ非ス故ニ法理上ヨリ考究スルトキハ兩者ハ何レモ國家ヨリ其權力ヲ傳受シ以テ之ヲ作用スルノ機關タルニ相違ナキナリ從ヒテ兩者ノ間到底其差異ヲ發見スルコト能ハサルナリ

第六章 君主ノ統治權

統治權トハ俗ニ稱スル支配ト云フ謂ニシテ今其本義ヲ探究スルトキハ即チ命令スルト云フノ義ナリ故ニ統治權ハ是命令權ナリ而シテ此ニ所謂命令權トハ

外方ヨリ基因シタル命令權ナ云フニ非スシテ自己固有ノ力ヨリ發スル命令權ヲ云フモノナリ又或ル場合ニ臨ミ或ル事件ニ限リ格段ナル命令ヲ發スルノ權ナク凡テ何事ニ依ラス一般ノ命令ヲ以テ他人ノ自由ヲ制限シ得ルノ權力ナリ故ニ其權力ノ企及スル範圍ヤ寔ニ際限アラサルナリ之ヲ以テ見ルトキハ此權力ヲ有スルモノハ獨リ國家ニ限ル可キモノニシテ國家ハ自ラ之ヲ作用スルコトモ有ル可ク或ハ又格段ナル人ニ委託シテ之ヲ作用セシムルコトモ有ル可ク眞正ナル君主國ニ於ケル君主ハ即チ國家ナルヲ以テ君主自ラ此權力ヲ有シ且之ヲ作用セリ之ニ反シテ非君主國ニ於テハ君主ハ國家ニ非ス故ニ君主以外ノ國家アリテ即チ此權力統治權ヲ有シ君主ハ國家ヨリ之ヲ受ケテ以テ作用ス而シテ此統治權ヨリ發生スル命令ハ實ニ法令ヲ爲ス故ニ君主國ニ於テハ君主ノ意思發表スル所直チニ法令ト爲ル

其君主國ナルト非君主國ナルトヲ問ハス凡テ法令ヲ發スルニハ一定ノ法式アルヲ以テ君主ノ法令ヲ發スルニ當リテハ此法式ノ爲メニ制限ヲ受ケルカ如キ外觀ヲ呈スルコト有リ非君主國ニ於テハ君主ハ憲法ニ因リ其命令權ヲ享有ス

ルヲ以テ憲法ノ制限ヲ受クルヲ以テ憲法ニ於テ其法式ノ規定アルモノハ必ス之ヲ守ラサル可カラズ而シテ此君主ノ受クル制限ヲ實ニ真正ナル法律上ノ制限ナリ然レトモ君主國ニ於テハ只法式アルノミニシテ絶ヘテ制限アルコト無シトス此意タル君主ハ通常法式ニ則ル然レトモ則ラサル可カラズトノ理由ナシト云フニ在リ何トナレハ假令憲法ニ於テハ法式ニ付キ規定スル所アルモ元其憲法ヤ君主ノ下ニ屬ス可キモノナレハ君主ノ之ニ依リテ制限ヲ受ク可キノ理ナキヤ親易キ道理ナレハナリ夫レ然リ然ルニ君主ノ之ニ則ル所ノモノハ抑如何ナル理由アリテ然ル乎他ナシ是法律上ノ制限ヲ受クルニ依リテ然ルニ非スニテ只是政事上ノ便宜ノ爲メタルニ外ナラス即チ憲法ニ於テ君主カ命令法式ヲ定ムル所以ハ人民ヲシテ之ヲ標準トシテ遵奉スル所ヲ知ラセメンカ爲メニ過キス敢テ人民ニ約シ以テ君主自ラ之ヲ守ラサル可カラズノ義務ヲ負ヒタルモノニ非ス從ヒテ之ヲ守ルハ君主ノ隨意ニ出ワルモノニテ法律上ノ制限ヲ受ケテ然スルモノニ非サルナリ

統治權ノ事コ付キ尙ホ此コ一言ノ注意ス可キモノ有リ他ナラス即チ統治權ハ

純然タル脅迫ノ權力ニシテ彼ノ所有權ノ如キモノト同一視ス可カラズ統治權ハ即チ公法ノ世界ヲ支配スルモノニシテ所有權ハ私法ノ世界ニ屬スルモノナリ今若シ假ニ我國カ内地雜居ト爲リ外人ニ許スニ土地所有權ヲ以テシ我邦土ハ盡ク外人ノ所有ト爲リタリト假定スルモ我天皇陛下ノ統治權ハ毫モ變更スルコト無ク我帝國國土ノ上ニハ陛下ノ統治權ト外人ノ土地所有權ト並立スルモノニシテ是學理上毫モ差支アラサルナリ即チ此場合ニ於テ統治權ハ國土ノ上ニ公法上ノ關係ヲ有シ國土ヲ以テ權力應用ノ目的物トシ所有權ハ國土ト私法上ノ關係ヲ有シ國土ヲ以テ專ラ財產上損益ノ目的物トス

第七章 君位繼承及ヒ踐祚並ニ即位

君主ノ有スル統治權ノ如何ナルモノナルヤハ既ニ之ヲ講述セル所ナリ此統治權ハ前君主ヨリ後君主ニ相傳スルヲ以テ通常トス而シテ其相傳スル事ヲ稱シテ君位繼承ト謂フ然ラハ之ヲ繼承スルニハ如何ナル方法ニ依ル可キヤト云フニ通常二個ノ方法アリ即チ一ハ憲法ニ於テ一定ノ規則ヲ立テ君主タル者ノ血

統ニ出ツル者ヲシテ代代其位ヲ繼カシムルモノニシテ之ヲ世襲繼承ト云ヒニ
 ハ一代毎ニ君主ヲ選舉シ以テ其位ニ即カシムルモノニシテ選舉ノ繼承是ナリ
 而シテ選舉ノ繼承ハ中世ノ頃ニハ行ハレタリト雖モ現今文明諸國ニ於テハ殆
 ト其例ヲ見ス遂ニ世襲繼承ハ憲法上ノ通例トナレリ
 此ノ如ク選舉繼承ハ其場合モ甚タ稀ニシテ且之ニ付キ特ニ説明ヲ要スル程ノ
 點ナキヲ以テ以下余ハ專ラ世襲繼承ノ事ニ付テ述フル所アラフ
 今余ハ之ヲ講スルニ當リ豫メ一ノ注意シ置カント欲スルモノアリ他ナラズ以
 下余ノ講述スル所ハ專ラ世襲繼承ナル事ヲ目的トシテ之ヲ論スルモノニシテ
 其君主國ナルト非君主國ナルトヲ區別スルモノニ非サルコト是ナリ故ニ以下
 論スル所ハ兩者ニ普通ノ論述ナリト知ラル可シ
 君位ヲ繼承スルコトハ以前ニ在リテハ民法上ノ考中ニ在リテ恰モ遺產ヲ受ケ
 續クト同様ノ思想ニテ有リシ現今尙ホ斯ル法理ノ行ハルル邦國全ク無キニ非
 スト雖モ近來公法上ノ思想發達スルニ從ヒ之ヲ民法上ノ法理ヨリ分離シ君位
 ヲ繼承スルハ敢テ財產權ヲ相續スルニ非シテ權力ヲ繼承スルモノナリトノ

思想專ラ行ハルルニ至レリ換言セハ君位ヲ繼承スルハ國土ノ所有主ト爲ルニ
 非ス又政府ノ財產ヲ相續スルニモ非スシテ單ニ權力即チ統治權ノ所有主ト爲
 ルモノナリ然ラハ一ノ君主ヨリ其儲嗣ニ向ヒテ此權力ノ移轉スルモノハ抑如
 何ナル法理ニ據ルモノナルヤ君主ハ之ヲ讓渡シ世嗣力之ヲ受クルモノニシテ
 即チ契約ニ據レルモノナルヤト云フニ然ラズ畢竟是憲法ノ法力ニ據リ *Legal*
 自然ニ移轉スルモノナリ
 尙ホ一層之ヲ詳言セハ世嗣ハ已ニ憲法ニヨリ規定セラルモノニシテ現君主カ
 死亡スルカ若シハ位ヲ去ルトキハ其世嗣ハ直チニ代リテ君主ト爲ル之ヲ踐祚
 ト云フ而シテ踐祚ニ依リテ君主ノ權利ハ直チニ世嗣ニ移轉ス故ニ先君主ノ位
 ヲ去ルト世嗣踐祚トハ同時ニシテ間髪ヲ入レサルモノトス
 且又上來反覆説述セルカ如ク君位ノ繼承ハ全ク憲法ノ力ニ依ルモノナレハ新
 君主ニ於テ之ヲ承諾スルト否トニ關ヒス又先君主ノ位ヲ去リタルコトヲ知ル
 ト否トニ拘ハラサルモノナリ若シ新ニ君主ト爲ル可キ者己レ君主ト爲ルコト
 ヲ承諾セサルモノナランニハ明カニ之ヲ拒絕スルコトヲ要ス

上ノ法理ニ據リテ論スルトキハ苟モ憲法ニ依リ世嗣ノ現在スル限リハ君主ノ位ハ繼續シテ假令分秒ノ間ト雖モ間斷アラサルナリ英國ニ於テ君主ハ死セト云ヘル語アルモ又日本ニ於テ皇位ハ一日モ之ヲ空フス可カラスト云ヘルモ共ニ同一ノ精神ニ出テタルモノニシテ畢竟此法理ヲ言顯ハシタルモノナル可シト信ス

余ハ説ケリ君位ヲ繼承スルハ實ニ憲法ノ力ニ依ルモノニシテ當人ノ諾否及ヒ知不知ニ關セサルコトナリ一タヒ之ヲ見ルトキハ君主ハ憲法ニ依リテ強迫ヲ受クルカ如ク從ヒテ君主國ニハ此法理ヲ適用ス可カラサルカ如ク然ラズ固ヨリ非君主國ニ於テハ此法理タル君主ヲ制限スルノ力ト爲ル可ケレ君主國ニ於テハ君主ヲ制限セスシテ尙ホ能ク此法理ヲ適用スルヲ得ヘシ他ナラス君主國ニ於テハ君主自ラ此法理ヲ許スモノナレハナリ故ニ君主若シ之ヲ不可ナリト思惟センカ憲法ヲ變更スルハ實ニ其權内ニ屬ス

新ニ君主ト爲リタル者ハ即位ノ禮式ヲ行フテ通常トスレトモ此即位ノ禮タルヤ法理上何等ノ意味ナモ有スルコト無ク從フテ之ヲ行フト否トハ苟モ君位ノ

得喪ニ關セス憲法上ニ於テハ苟モ世嗣タル可キ者ナレハ即位ノ禮ハ之ヲ行ハスト雖モ先君主ノ位ヲ去ルト同時ニ君主ト爲ルモノトス但憲法上特ニ即位ノ禮ヲ行フニ因リ君位ヲ得ヘキコトヲ規定セル場合ハ格別ナリ

第八章 官府

國家統治權ノ本體ハ單一ニシテ分ツ可カラサルモノナリト雖モ之ヲ執行スルノ方向ハ甚タ多シ何トナレハ凡ソ國家ハ種種ノ目的ヲ有スルモノニシテ例ヘハ國民ノ教育、農商業ノ進歩ヲ計ルコトモ有ラン或ハ外國ト交際スル等其目的取テ單一ノモノニ非ス從ヒテ種種ノ事務ヲ有ス而シテ其事務ヲ通常公法ヲ以テ之ヲ數部ニ別ツ夫レ然リ而シテ其各部内ノ事務ヲ行ハシムルハ之ヲ行ヒ得ヘキタケノ力ナカル可カラズ故ニ國家ハ統治權ヲ以テ此等各部ニ於ケル事務ノ執行ニ伴ハシメ以テ執行ノ力トス此ノ如キ其各部ノ事務及ヒ之ニ伴フ所ノ權力ヲ合セテ一個ノ法人ト看做シ之ヲ官府ト稱シ其官府ニ付與セル所ノ國家ノ權力ヲハ之ヲ職權ト謂フ

一ノ國家ノ下ニハ其國家事務ノ繁簡ニ應ニ數个ノ官府アリテ國家ハ之ニ依リテ以テ其事務ヲ行フモノトス
 上來余ノ説ク所ニ由リ既ニ明瞭ナルカ如ク各官府ハ國家ノ權力ヲ分割シ以テ其一部ヲ保ツモノニ非ス國家最高權ハ終始單一ニシテ敢テ分ツ可カラサルモノナリ或ハ官府カ其權力ノ一部ニモセヨ之ヲ有スルカ如キコトハ到底有リ得ヘカラサルコトニシテ官府ハ唯是國家ノ權力ノ作用ヲ掌ル所即チ國家ノ權力ヲ通過セシムル驛場ナリト云フヲ得ヘシ
 サレハ官府ハ國家ニ對シ獨立ノ位地ヲ保フ能ハサルコトハ勿論ニシテ國家ニ對シ何等ノ權利ヲ有セサルコトヲモ亦明瞭ナリ
 以上ハ國家ヨリ官府ニ對シテ立論シタルモノナルカ今翻リテ位地ヲ變シ人民ヨリ官府ヲ見ルトキハ官府ハ即チ權力ノ主體ト爲リテ現ハル更ニ詳言セハ國家ノ權力ハ官府ニ依リテ人民ノ頭上ニ行ハレ國家ノ委ハ官府ニ依リ人民ノ前ニ顯ハルルモノナリ故ニ人民ヨリ之ヲ見ルトキハ國家ト官府トノ間其別アル無ク官府ノ職權ハ即チ國家ノ權力ナリ

第九章 官吏

官吏トハ如何ナル者ヲ云フヤト云ヘル問題ニ付テハ種種ノ學說アリト雖モ就中余ハ自ラ信服スル所ノ説ヲ講述シ以テ諸君カ研究ノ一助トセム
 國家ハ種種ノ公權ヲ有スルモノナレハ之ヲ行フニハ數多ノ人員ヲ要シ爲メニ官吏ヲ置クノ要ヲ生ス故ニ瞥見スルトキハ國家ノ公務ニ從事スル者ハ即チ官吏ナリトノ思想生ス然レトモ詳細ニ觀察スルトキハ官吏ナル語ノ真義ハ此ノ如ク容易ニ定ム可カラサルモノナルコトヲ知ル何トナレハ等シク公務ニ從事スル者ト雖モ或ル人ノ如キハ其國家トノ關係他ノ者ト大ニ異ナル者アレハナリ例之ハ名譽ノ陪審官(名譽ノ陪審官トハ一事件ノ起ルニ際シ官令ニ依リ無給料ヲ以テ陪審ノ事ヲ爲ス者ナリ)ノ如キ公務ヲ行フト雖モ是國家トノ關係ハ他ノ官吏トハ大ニ異ナルヲ以テ之ヲ他ノ官吏ト合シテ官吏ト稱スルコト無ク又之ニ反シテ國家ノ公務ニハ從事セスト雖モ國家トノ關係ハ他ノ通常人民ヨリ大ニ異ナル者アリ非職官吏ノ如キ是ナリ然ルニ若シ公務ニ從事スル者ヲ以テ

官吏ナリトセンカ此等ノ者ハ之ヲ官吏ニ非ストセサル可カラズ然レトモ此等ノ者ハ通常之ヲ官吏ノ部類ニ編入セリ要スルニ官吏ト稱スル者ニ非シテ國家ノ公務ニ従事スル者アリ又官吏ト稱スル者ニシテ公務ニ従事セサル者アリ此ノ如ク公務ニ従事スルト否トハ以テ官吏ト否トテ區別スルノ標準トスルコト能ハサルヲ以テ更ニ他ニ向ヒテ官吏ナル語ノ真意ヲ求ムルノ要ヲ生ス然ラハ如何ナルモノカ果シテ官吏ト官吏ニ非サル者トテ區別スルノ標準ト爲ル可キヤト云フニ至リテハ深ク之ヲ探究セシメテ吾人カ常ニ稱呼スル所ノ官吏ナル語ト同時ニ浮出スル觀念ノ中ニ向ヒテ容易ニ之ヲ求ムルコトヲ得ヘン即チ其觀念ニ基キ考フルニ吾人カ官吏ト稱スル者ハ國家ニ對シテ或ル一種ノ關係ヲ存スルコトヲ知ル即チ國家ノ公務ニ服スルノ關係ニシテ約言セハ官吏ト國家トノ間ニハ服役ノ關係(Dienstverhältnis)アル者ナリ而シテ其服役ノ關係トハ實際現ニ公務ヲ行キツアアルト否トヲ以テ云フニ非ス其身分ノ公務ニ服ス可キ位地ニ在ルヲ云フモノナリ斯ノ如ク說キ來ルトキハ即チ實際公務ニ服シ居ラスシテ之ニ服スルノ關係ヲ存スト云フニ至リ一見スルトキハ其ヲ奇怪

ナルカ如シト雖モ然ラス今之ヲ例解センカ彼ノ主人ノ爲メ勞役ニ服スル奴僕ノ如キ必スヤ日日勞役ニ服セスト雖モ毫モ奴僕タルコトヲ妨ケス茲ニ二日或ハ三日ノ間業務ヲ執ラサルコト有リト雖モ爲メニ主僕ノ關係變更ヲ來ササルカ如ク服役ノ關係モ亦之ニ類ス其公務ヲ現ニ執ラサルコト有ルモ此關係ハ則チ存スルコトヲ得ヘキモノナリ夫レ然リ然リト雖モ單ニ服役ノ關係ト云フトキハ其意頗ル廣漠ナルノミナラズ服役ノ關係ヲ有スル者ハ獨リ官吏ニ限ラスシテ尙ホ他ニ此關係ヲ有スル者アルヲ見ル今官吏ノ有セル服役ノ關係ト其他ノ者ノ有セル服役ノ關係ト異ナル所ヲ説明セン凡ソ一般ニ服役ノ關係ト稱スルトキハ既ニ述フルカ如ク國家ノ公務ヲ盡ス可キ位地ニ在ル者ノ謂ニシテ左ノ三種類アリ第一 國家カ強迫ノ命令ヲ以テ一人ヲシテ公務ニ服セシメ一箇人ハ之ヲ拒ムコトヲ得スシテ即チ公務ニ従事スルモノニシテ例之ハ兵役及ヒ後見等ノ如キ是ナリ此種ノ者公務ニ就キ居ルモノニ相違ナレ然レトモ之ヲ官吏ト云

ハス何トナレハ此關係タル術モ國家ニ對シテ臣民タルノ關係ナ有スル以上ハ必ス伴隨ス可キモノコシテ特ニ官吏タル可キ者ノミノ有スル關係ニ非サレハナリ

第二、國家ト一箇人トハ同等ノ地位ニ立テ對等ノ契約ヲ締結シテ雙方ノ間ニ權利義務ノ關係ヲ作り一方ハ以テ國家ノ公務ヲ執ル可キコトヲ承諾シ他ノ一方ハ之ニ對シテ幾分ノ報酬ヲ支拂フ可キコトヲ約スルモノニシテ雙方ノ行爲ハ一ニ其契約ノ所定ニ據ルモノ有リ此種ノ關係ハ本ト契約ノ結果ニシテ契約ナキ以上ハ又其關係アルコト無ク而シテ其契約ヲ締結スルト否トハ全ク契約者雙方ノ任意ニシテ強迫ノ性質ヲ帶フルモノニ非サルノ點ニ於テ第一ノモノト相反ス故ニ此關係ハ全ク民法的ノモノニシテ契約ノ性質ヲ有スルニ止マル例ヘハ國家ニ屬スル家屋ノ建築傳信及ヒ鐵道ノ布設ノ爲メ政府カ一箇人ヲ雇入ルルトキノ雇人ト政府トノ關係ノ如キ即チ是ナリ今余ハ進ミテ第三種ノモノヲ説クニ先タ上ニ講シタル二个ノ區別ヲ約言スレハ第一ノモノハ契約ニ因リテ生スル關係ニ非スシテ而モ強迫ノ性質ヲ有

シ第二ノモノハ本ト契約ニ因リテ生スルモノニシテ毫モ強迫ノ性質ヲ有セサルニ於テ大差アリ然ルニ今兩者ノ中間ニ在リテ組成セル關係アリ是即チ余カ第三トシテ講スルモノニシテ實ニ左ノ如シ

第三、自己ヲ服役ノ地位ニ置クコトハ實ニ契約ヲ以テ定ムト雖モ彼ノ第二種ノ如ク雙方間ニ定ムルニ民法的權利義務ノ關係ヲ以テスルニ非スシテ全ク權力上ノ關係ヲ定ムルモノナリ詳言セハ一箇人ハ國家ニ對シテ服從ノ地位ヲ取リ忠實ヲ盡シ服役ノ義務ヲ執ランコトヲ約シ國家ハ之ニ對シテ其事務ヲ執行シ得セシメシカ爲メ保護ヲ與フ可キコトヲ約束スルモノナリ故ニ雙方間ニ於テ一タヒ其約成ル以上ハ敢テ權利義務ノ關係ヲ組成スルコト無ク寧ロ強制ト服從ノ關係ヲ存スルモノトス然レトモ前述セル第一ノ場合ノ如ク元來強迫ニ因リ成立シタル關係ニ非サルヲ以テ之ヲ脱セントスルハ其自由ナリ即チ官職ヲ辭スルコトハ任意ナリ(此論ニ付キ反對ナキニ非ス)而シテ此第三種ノ關係コソ實ニ官吏カ有スル服從ノ關係ニシテ既ニ述フルカ如ク此種ノ關係ヲ有スル者ハ實際現ニ公務ニ從事シツアアルト否トナ問ハス之ヲ

官吏ト稱スルナリ又通常官吏ハ俸給ヲ受クルモノナリト雖モコハ法理上必要ナルコトニ非ス且又如何ナル時機ニ於テ官吏ト爲ルヤ換言セハ服役ノ關係ハ如何ナル瞬間ニ於テ成立スルヤハ通常辭令ノ授受ヲ以テ始トス故ニ此契約ノ成立スルハ實ニ辭令ヲ交付スル時ナリトス然ラハ其終期ハ如何耶テ官吏自ラ辭職シ國家ノ之ヲ承諾シタルトキ及ヒ死亡免官ノ時ナリトス今余ハ本章ニ終ラントスルニ臨ミ一ノ注意ス可キモノ有リ他ナリス余カ以上講述シ來レル中ニ於テ官吏ト稱シタルモノハ一般普通ノ官吏ナル語ニ基キタルモノナレハ或ル一定ノ邦國ニ在リテ制法上用フル官吏ナル語ノ意義果シテ此ト一致シ居ルヤ否ヤハ一ニ之ヲ諸子ノ攻究ニ任スルコト是ナリ

第十章 國會ノ性質

余カ今論セントスルモノハ國會ノ性質ニシテ換言セハ國會ハ公法上何モノナルヤ例ヘハ統御ノ主體ナルヤ又ハ客體ナルヤ成ハ其機關ナルヤヲ論スルナリ而シテ此論題ニ付テハ學說紛ナカラスト雖モ就中余ノ雖モ要用ナリト信スル

モノ一二ヲ左ニ掲ケン

第一說 國會ノ性質ヲ論スルニ當リテハ左ノ三個ノ點ヨリ之ヲ觀察セサル可カラス

- (一) 人民ニ對スル關係
- (二) 君主ニ對スル關係
- (三) 國家ニ對スル關係

是ナリ以下將ニ之ヲ解説セントス

(一) 人民ニ對スル關係上ヨリ觀察スルトキハ國會ハ人民全體即チ國民ノ代表者ナリ尙ホ之ヲ詳説センニ抑、人民全體即チ國民ナルモノハ法律上一个ノ團體ト認メラルモノニ非ス法律ノ眼中ニ於テハ唯名各人及ヒ法人體アルノニ國民ナルモノハ法律ノ眼中ニ於テ絶ヘテ無キ所ナリ故ニ國家ニ對シテ統御ノ下ニ立ツモノハ各人又ハ法人體ニシテ國民全體カ一團體トシテ統御ノ下ニ立ツモノニ非ス結局國民ハ法理ノ世界ニ於テハ一ノ占ム可キ位地ヲ有セサルモノナリ從ヒテ國民ノ代表者ナルモノノ法理世界ニ存セサルコト勿論ナリト云フ

憲法原論

可然ルニ此ニ國會ヲ指稱シテ國民ノ代表者ナリトシ之ニ向ヒテ法律ノ世界
 中ニ一个ノ地位ヲ與フル所以ノモノハ實ニ左ノ理由ノ存スル有レハナリ
 法律ノ眼中ニ於テ國民ナルモノノ存セサルコトハ上述セル所ノ如クト雖モ今
 試ニ法律ノ世界ヲ離レ哲學上ノ眼光ヲ以テ觀察スルトキハ國民ハ即チ一个ノ
 團體ヲ爲シ一个ノ意思ヲ有スルヤ疑フ可カラズ此意思之ヲ稱シテ國民ノ總意
 ト云フ故ニ此總意ナル語ハ單ニ哲學上ノ意味ヲ有スルノミニシテ法律上ノ意
 味ヲ有スルモノニ非ス然レトモ一タヒ制法ヲ以テ此等哲學上ノ總意ヲ發表セ
 シメソカ爲メ一个ノ機關ヲ作リタルトキニ至リ茲ニ哲學上ノ總意ハ始メテ法
 律上ノ意味ヲ有スルニ至ル而シテ其總意ヲ發表スルノ機關ハ國會ニシテ其現
 ハス所ノ意思ハ即チ國民ノ總意ナリ夫レ斯ノ如ク國會ハ國民ノ總意ヲ代表ス
 ルモノナルヲ以テ之ヲ國民ノ代表者ナリトス然レトモ此處ニ謂フ所ノ代表ト
 ハ彼ノ民法上ニ於テ所謂委託ニ基ク代理トハ全然異ナルモノニシテ國民ハ國
 民自身トシテハ無能力ナルヲ以テ法律カ之ニ向ヒテ代表者ヲ指示スルハ恰モ
 彼ノ行爲無能力ナル一個人ニ對シテ法律カ後見人ヲ指示スルト一般總乎タル公

法上ノ代表者ナリトス

斯ク國民ト國會トノ間ニハ委託代理ノ關係ナキヲ以テ法律上國會ノ意思ハ直
 チニ國民ノ意思ト認メラル可ク國會ノ意思以外ニ於テ國民ノ意思ナルモノ有
 ラサルナリ即チ國民ノ意思ハ假令如何様ナリトモ法律上國會ハ國民ノ意思ヲ
 代表スルモノト定メタル以上ハ國會ノ意思ヲ以テ國民ノ意思ナリト看做スコ
 トハ當然ニシテ極言セハ國民ノ意思ハ明カニ國會ノ意思ニ背反スルトキト雖
 モ尙ホ國會ノ意思ヲ以テ國民ノ意思ナリト看做ササル可カラズ
 又國會議員ハ各個人又ハ各選舉區ノ代表者ニ非スシテ國民全體ノ代表者ナリ
 何トナレハ法律カ認メテ以テ代表セシムル所ノモノハ實ニ國民ノ總意ニシテ
 自餘復タ代表セシム可キモノ有ラサレハナリ
 (二) 國會ノ君主ニ對スル關係ヲ説カンニ前述セル如ク國會ハ畢竟國民ノ代表
 者タルモノナレハ他ノ臣民ト一般君主ニ對シテハ臣民タルモノトス然レトモ
 憲法ノ規定ニ依リ國會ハ或ル場合ニ於テ君主ノ意思ニ從フテ要ヒサルコト有
 リ又君主ト共ニ國家ノ公務ヲ爲スコト有リ

(三) 國會ノ國家ニ對スル關係ヲ見ルニ國會ハ國家ニ對シテハ其機關ナリ然レトモ他ノ諸官府ニ於ケル如ク他ニ向ヒテ國家ノ意思ヲ發表スルモノニ非スレテ只君主カ國家ノ意思ヲ代表スルニ付テ君主ナシテ正當ナル國家ノ意思ヲ發表セシメンカ爲メニ君主ノ意思ト國民ノ意思トヲ和合ヒシムル機關ニシテ換言セハ君主ト共ニ國家ノ意思ヲ作出スル一ノ機關ナリトス

第二說國會ヲ以テ國家ノ公務ヲ執行スル一ノ官府ナリトセリ國會ハ政治上ノ點ヨリ見ルトキハ普通官府ト大ニ其趣ヲ異ニスルカ如シト雖モ之ヲ法理ニ質スニ至リテハ兩者ノ間差アルヲ見ス既ニ官府トスルトキハ勿論國家ノ下風ニ位シ國家公務ノ一部ヲ分擔スルモノニシテ固ヨリ國家ノ權力ヲ制限スル等ノ權力ナキコトハ論スルマテモ無ク自己固有ノ權力トテハ毫モ之アラサルコト明瞭ナリ

以上余ハ國會ノ質性ヲ論スルニ當リ余カ特ニ緊要ナリト信スル所ノ二個ノ學說ヲ畧述セリ此他尙ホ二三ノ異說ナキニ非スト雖モ其要ヲ見サルヲ以テ之ヲ説述セサルナリ然リト雖モ余ハ前掲ノ二說ヲ以テ必スレモ之ヲ萬國普通ノモ

ノナリト云フニ非ス又云フ可カラサルナリ何トナレハ或ル邦國ニ於テハ第一說ノ行ハルル有リト雖モ他國ニ於テハ第二說ノ法理行ハルルノミナラス更ニ他ノ邦國ニ於テハ全ク前掲二說以外ナル法理ノ行ハルルモノ有ルヲ見ル例之ハ英國ノ如キ國會ハ主權者ナリトノ法理アルヲ以テ到底前說ニ據ルコト能ハサルカ如シ然レトモ前ニ述フル兩說ハ現今最モ普通ニ適用セザルルノ法理ナルコト疑フ可カラス又余ノ考フル所ニ據レハ前述ノ二說タル互ニ氷炭相容レサルモノニ非スト信ス何トナレハ好シヤ第二說ノ如ク國會ヲ以テ一ノ官府ナリトスルモ其之ヲ組織セル議員全體ハ國民ノ代表者ニシテ國民ノ總意ニ依リ官務ヲ取扱フモノナリト云フヲ得ヘケレハナリ

英國ノ如ク國會ヲ以テ主權者ナリトスルモノハ格別其他國會ハ假令之ヲ官府ナリトスルモ將又國民ノ代表者ナリトスルモノ之ニ固有ノ權力アラサルコト勿論ナリ何トナレハ余カ前ニ講述シタルカ如ク官府ニハ決シテ固有ノ權力ナク又國民ノ代表者ナリトセシカ國民自身スラ有セサル權力ハ到底之ヲ有スルコト能ハサルハ當然ナレハナリ

此ノ如ク國會ハ毫モ自己固有ノ權力ナシト雖モ職權ハ之ヲ有セリ職權トハ前
既ニ講述シタルカ如ク國家ノ事務ヲ執行センカ爲メニ國家ヨリ得タル權力ナ
リトス

歐洲諸國ニ於テ國會ハ通常分テ之ヲ二部トス然レトモ其之ヲ二部ニ分ツト
將又一部トスルトハ全ク政治上ノ理由ニ基クモノニシテ敢テ法理ノ關與セサ
ル所ナリサレハ國家ノ内部ニ在リテ事務ヲ取扱フ場合ニ於テハ嚴然二局ヲ設
クト雖モ一タヒ之カ他ニ對スル場合ニ於テハ單ニ一个ノ國會アルノミ故ニ兩
院ノ中其一院ニ於テ爲シタル事柄ハ敢テ國會ノ爲シタルコトト爲ラサルハ言
テ俟タス

又國會議員ト爲ルニハ選舉又ハ勅選ニ依ルテ通常トスト雖モ其方法ノ如何ハ
固ヨリ法理ノ關與セサル所ナリ何トナレハ其方法ノ如キハ只是議員ノ成立ス
ル手續ニ過キサレハ好シヤ議員ハ悉ク選舉ニ依リテ成立セタリトスルモ國會
ヲ目シテ官府ナリトスルニ差支アルコト無ク之ニ反シ議員全體勅選ニ依リ成
立セタリトスルモ國會ヲ以テ國民ノ代表者ナリトスルニ毫モ妨アルコト無シ

是他ナシ國會ノ官府ナルト又國民ノ代表者ナルトハ決シテ手續ニ依リテ定マ
ルモノニ非スレテ他ニ法理ノ存スル有リテ然ルモノナレハナリ
又國會ハ假令官府ナリトスルモ又人民ノ代表者ナリトスルモ等シク人民ニ對
シテハ毫モ責任ヲ負フコト無シ即チ官府ニシテ人民ニ對シ責任ヲ負ハサルコ
トハ論スルマテモ無シ縱シテ以テ前述第一說ノ如ク君主併立スル一官府
ナリトスルモ亦是國家ノ官府ナレハ國家ニ對シテコソ責任アレ人民ニ對シテ
ハ責任ナク之ヲ人民ノ代表者ナリトスルモ實ニ代表ニシテ代理ニ非サレハ之
ニ對シテ責任ナキヤ明ケン

第十一章 國會ノ權限

國會ヲシテ主權者即チ國家其モノナラシメハ假令如何ナル事ニテモ爲スナ得
ヘント雖モ若シ然ラサルコト於テハ必スヤ其權利ニ於テ限界ナクシテハアラス而
シテ元國會ハ國家ノ委託ニ依リテ國家ノ公務ヲ行フモノニシテ茲ニ國家ヨリ
若干ノ職務ヲ授ケラレ從ヒテ之ニ相當ナル職權ヲ風セシムルモノナリ故ニ國

家ヨリ委託シタルヨリ以外ノ事件ニ付テハ職務職權共ニ無ク畢竟國會ノ權限ハ國家ノ委託ト其範圍ヲ同フスルモノトス

然ラハ其權限ハ果シテ如何ナル程度ノモノナルヤト云フニ通常頗ル廣大ナルモノニシテ其事務ノ種類ニ依リテ之ヲ定ムルモノトハ見ルコト能ハス詳言セハ何等ノ事ハ國會ノ擔任スヘク或ハ關係ス可キ事ト確定セルコト非ケルカ如シ例ヘハ他ノ官府ニ在リテハ外務ト云ヘハ外國トノ關係ノ事ヲ掌リ内務ハ即チ内政ヲ掌理スル等其掌ル可キ事務ノ種類ニ依リテ之カ職權ヲ定ムト雖モ國會ニ在リテハ則チ然ラス其事務ノ種類ニ依リテ職權ノ定マレルモノニ非サルナリ故ニ業務上ヨリ云ヘハ國會ハ通常國家ノ公務總體ニ關係シ其内務ナルト外務ナルト將又大藏ナルトト問ハス結局業務上ヨリ云フトキハ國家ノ公務ニシテ國會ノ關係セサルモノハ殆ト之ナシト云フヲ得ヘシ然ラハ國會ノ權限ハ實ニ廣大無限ニシテ到底定限ナキヤト云フニ然ラス何トナレハ前述ノ如ク之ヲ事物上ヨリ觀察スルトキハ國會ノ參與ス可キ範圍ハ實ニ確定スルコト能ハスト雖モ其國事ニ參與スルニ至リテハ必スヤ一定ノ形式アルヲ以テ通常トシ若シ

之ニ據ラスハ國會ハ決シテ政務ニ參與スルヲ得ス即チ國會カ國事ニ參與スルヲ得ルハ此形式アル所ニ限ル故ニ國會ノ權限ヲ知ラント欲セハ要スルニ其形式ノ存スル所ヲ討尋スルニ若カス然ラハ其形式ハ如何ナルモノナルヤト云フニ通常之ヲ分チテ左ノ四トス

第一 協賛

第二 承諾

第三 質疑

第四 上奏建議請願等ノ類

以上箇節ニ付キ説明スル所アラフ

第一 協賛

協賛トハ國家カ法律トシテ發布ス可キ所ノ事項ニ對シテ國會カ表スルノ同意ニシテ即チ法律カ法律ト爲ルニ必要ナル一箇ノ形式ナリ更ニ之ヲ詳述セハ協賛ハ其實國會カ法律ニ對シテ表スル同意ニ非スヤテ單ニ將來ニ於テ法律ト爲ル可キモノ即チ一箇ノ議案ニ對シテ表スルノ同意ナレハ法律ヲ作ルニハ實ニ

必要缺ク可カラサル要素ナリト謂フ可シ然リト雖モ法律ノ效力ハ協賛ニ因リ直チニ發生スルモノニ非ス必スヤ君主ノ裁可ナルモノヲ要シ之ヲ得タル後始メテ其效力ヲ全フスルヲ常トス而シテ協賛ハ主トシテ法律ト名ツクル一種ノ命令ヲ作ルニ付テ最モ必要トスル所ニシテ之ヲ稱シテ國會カ立法ニ參與スト云フ(特コ法律ト名ツク可キモノヲ作ルニ付テ國會ノ同意スルコトヲ)故ニ協賛ト稱スル形式ニ由リテ國會ノ國事ニ參與スルハ實ニ立法ノ場合ナリ而シテ立法モ亦統治權ノ作用ヲ顯ハス一箇ノ形式ニ外ナラズシテ其立法ノ干預ス可キ事柄タル確然區域ノ記載ナキヲ以テ從ヒテ國會カ協賛ニ因リテ干預ス可キ事柄モ亦之ヲ枚擧スルコト能ハス然レトモ立法ノ手續ニ依リテ制定スル所ノ法律ト爲ス可キ事柄及ヒ憲法上協賛ヲ必要ナリト定メタル事柄ニ對シテ國會ハ此協賛ナル形式ニ由リ參與スルモノナリト論結セハ略其範圍ヲ知ルコトヲ得ヘキナリ

第二 承諾

承諾ハ主權者ノ獨權ニ因リテ發スル所ノ命令ニ對シテ國會カ表スル所ノ同意ナ

而シテ承諾ハ協賛ノ如ク事柄ニ對スルモノニ非ス又議案ニ對スルモノニ非スシテ業已ニ命令ト爲リタルモノニ對スルモノナリ故ニ承諾ハ彼ノ協賛ノ如ク命令ナシテ命令タラシムルニ必要ナル要素ニ非スシテ承諾前已ニ命令ト爲レルモノナシテ之ニ一層ノ效力ヲ生セシメンカ爲メ要用ナルモノナリサレハ法律ノ議案ニ對シテ若シ協賛ナキトキハ其法律將來法律ト爲ル可キモノナリ此ハ略シテ法律ト謂フハ全ク議案ノ儘ニテ消滅スト雖モ命令ニ對シテ承諾ナキ場合ハ其命令ハ即チ命令トシテ廢滅ス可キモノナリ要スルニ協賛ハ未タ效力ヲ有セサル所ノ議案ニ對スルニ過キスト雖モ承諾ハ已ニ效力アル命令ニ對スルモノナリトス

此ノ如ク協賛及ヒ承諾ノ間ニ於テハ判然差別アリト雖モ國家ノ議決タリトノ點ニ於テハ兩者ノ間敢テ區別アラサルナリ

承諾ハ率チ緊急命令及ヒ外交條約等ノ場合ニ於テ之ヲ要ス

第三 質疑

憲法原論

質疑ハ別ニ説明・ルマテモ無ク政府ノ行爲ニ關シ國會ヲ憲法上ノ疑ヲ生シタ
ル際等ニ於テ其説明ヲ要求スルコトヲ得ルヲ謂フモノニシテ主トシテ財政ニ
關スル事柄ニ付キ説明ヲ取ルコト多シ然レトモ通常之ヲ説明スルト否トハ政
府ノ自由ニシテ國會ハ強ヒテ之ヲ請求スルコトヲ得ス是以テ見レハ質疑ハ
實ニ國會ノ有スル權利ニ非スシテ單ニ國會ノ有スル自由タルニ過キサルナリ
第四 上奏建議請願

國會ハ又國事ニ關シ上奏建議請願等ノ方法ヲ以テ自己ノ意見ヲ提出スルコト
ヲ得ヘシ然リト雖モ其果シテ如何ナル事件ニ付キ此方法ヲ採ルヲ得ヘキヤコ
至リテハ此ニ之ヲ確言スルコト能ハサルノミナラス各國ノ憲法ニ於テ一定セ
サル所ナリ

第十二章 國會ノ事務執行ノ規則

國會ニ於テ其事務ヲ執行スルニ付キ必要ナル規則ハ上下各兩院ニ於テ之ヲ定
ムルハ通常ノ規則ナリ然リト雖モ重要ナル事柄ニシテ例ヘハ議會ヲ開クニ付

一 要用ナル議員ノ數ヲ定ムルカ如キコトハ憲法ノ規定スル所ナリ但コハ普通
規則ノ取除ト見ルモ可ナリ

國會カ事務執行ノ規則ニ依リテ定ムル所ノ事柄ハ大略左ノ如シ

第一 議院ノ成立及ヒ國會議員資格ノ審査

國會カ議事ヲ開クニ當リテハ必スヤ一定セル議員ノ出席スルコトヲ要シ若シ
出席議員其定數ニ充タサルトキハ議事ヲ開クコト能ハス然リ而シテ國會開會
ノ初ニ於テ必ス先ツ出席議員ノ數ハ規定ノ數ニ充テルヤ否ヤヲ審査シ其數ニ
充タタルトキハ議院成立シタリト稱ス然レトモ理論上ヨリ言フトキハコハ只
議事ニ著手スルコトヲ得ヘキヤ否ヤヲ審査スルノ手續タルニ過キムニシテ議院
ハ早ク己ニ召集ニ因リテ成立セルモノナリ

上ニ一言スルカ如ク國會ノ上下兩院ニ於テ又議員ノ資格ヲ審査シ而シテ之ヲ
爲スニ付キ通常審査委員ナルモノヲ設ケ議員ノ多數ニ依リア之ヲ決ス
議員ノ資格ニ付テ異議ヲ主張スルコトハ政府員ノ權ニ在ルコト有リ又全ク議
員ノミノ權内ニ屬スルコト有リ而シテ此等議員資格ニ付テ最終ノ判決ハ議院

ヲ以テ限リトスルモノニシテ之ヲ裁判ノ手續ニ訴フルコト能ハサルモノナリ
議員ノ資格ヲ證明セシカ爲メニ議員姓名簿ノ備アリ以テ資格アリト定マレル
者ヲ記入ス故ニ其姓名簿ハ議員ノ資格ヲ審査スルニ付テハ重要ナル證據物ト
リ
國會議員ノ資格ニ付キ審査ヲ爲スハ通常選舉ニ因レル議員ハ限ルト雖モ英國
等ニ於テハ勅命ニ因リテ議員ト爲リタル者ト雖モ尙ホ其審査ヲ受クルコト有
リト聞ク

第二 議長及ヒ書記ノ選擇

上下兩院ニ於テハ各其事務ヲ整理センカ爲メニ議長副議長及ヒ書記等ヲ選定
ス而シテ議長ハ議員中ヨリ選出スルト勅選セラレルトノ二様アリ又書記官モ
亦議員中ヨリ之ヲ選出スルコト有リ或ハ特ニ一箇ノ官吏トシテ國家ヨリ任命
スルコト有リ

議長ノ議院内ニ於ケル職務ハ主トシテ議場ヲ整理スルニ在リ而シテ議長ハ議
場内ニ於テ其職務ヲ執行センカ爲メニハ純然タル警察權ヲ行フ

議長ハ又他ニ對シテハ議院ノ代表ヲ爲ス者ナレハ議院ノ名義ヲ以テ事務上ノ
交際ヲ爲シ其他或ハ議院ニ必要ナル職員ヲ任免シ及ヒ會計ノ事ヲ掌ル
書記ノ職務ハ畢竟議事録ヲ掌ルヲ以テ主トス

第三 區分委員

國會ハ通常議題ト爲ル可キ事柄ニ付テ討議ヲ爲スノ前先ツ委員ヲシテ之ヲ調
査セシムルヲ通常トス而シテ或ル場合ニ於テハ議員全體同時ニ委員ト爲ルコ
ト有リ之ヲ全院委員ト名ツク然レトモ其調査ス可キ事柄ヤ實ニ種種難多ニシ
テ到底分割シテ之ヲ調査セサル可カラサルノ必要アルモノナレハ終始斯ル方
法ニノミ據ルコト能ハサルヲ以テ尙ホ他ニ委員ヲ設クルノ方法アリ即チ其方
法ヲ達ス可キ目的ヲ以テ國會議員全體ハ像メ之ヲ數種ニ分割セリ故ニ此方法
ニ依ルトキハ其分割セル各部内ヨリ委員ヲ選出シ以テ其各部各部ノ委員ニ委
任スルニ各相異ナリタル事柄ノ調査ヲ以テス我國ノ議院法ニ所謂常任委員即
チ是ナリ例ヘハ一ノ委員ニハ專ラ司法事務ノ事ヲ調査セシメ又他ノ委員ニハ
農商ニ關スル事ヲ調査セシメ其他ノ者ニハ或ハ財政或ハ教育ト云フカ如ク總

テ事ヲ分チ之ヲ各部ノ委員ニ委任シテ以テ其調査ヲ遂ケシムルナリ斯クテ其
委員會ニ於テ調査ヲ終リタル後始メテ之ヲ議事ニ付スルハ蓋一般ノ原則ナリ

第四 會議ノ手續

會議ノ議案ニ議員ヨリ提出スルモノト政府ヨリ提出スルモノトノ二アリ而シ
テ二者中何レヲ先ニシ何レヲ後ニ可キヤト云フニ其順序ニ付テ議長ハ豫メ議
事日程ナルモノヲ作リテ之ヲ定メ先ツ政府及ヒ議員ニ之ヲ通知ス

此ノ如ク會議ハ常ニ議事日程ニ依リ之ヲ行フモノナリト雖モ必要ノ場合ニ於
テハ豫メテ定メタル議事日程ノ順序ヲモ之ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

議事ヲ開クニ當リテハ議員ニ向ヒ前同ノ議事ニ依リテ製シタル所ノ議事録ヲ
朗讀スルヲ通則トス然レトモ實際ニ於テハ之ヲ朗讀スルヲ略シテ朗讀シタル
モノト看做ス

又議事ヲ爲スニハ通常三回ノ會議ヲ要ス即チ第一讀會第二讀會第三讀會是ナ
リ而シテ第一讀會ニ在リテハ其議セントスル所ノ法律案ニ付テ大體ヲ議ス更
ニ詳言セハ第一讀會ニ於テハ其議スル所ノ事柄ハ之ヲ法律トシテ定ム可キモ

ノナルヤ否ヤ等其全體ニ對シテノ協議ヲ爲シ第二讀會ニ於テハ已ニ第一讀會
ニテ定マリタル議案ノ各條項ニ付テ逐條審議ヲ遂ケ其之ヲ終リタルトキハ即
チ第三讀會ヲ開キ再ヒ議案ノ全體ニ對シテ之ヲ議スルモノナリ然レトモ其第
一讀會ト異ナル所ノモノハ第三讀會ハ即チ議事ヲ終結スルノ會ニシテ第二讀
會ニテ議定シタル各條項ハ相矛盾スルコト無キヤ否ヤニ付テ主トシテ之ヲ調
査スルニ在リ而シテ本會ヲ終ルト共ニ全ク議事ヲ終ルモノナリ故ニ第二讀會
ハ他ノ二者ニ比シテ最モ多クノ日時ヲ要スルナリ而シテ又此等ノ方法ハ獨リ
國會ノミナラス尙ホ其他ノ會議等ニ於テモ之ヲ用フルコト屢ナリ

採決ヲ爲スハ議長ノ任ナリ而シテ議長ノ決ヲ採ルニ當リ議員ニ向ヒテ問フノ
問題ハ單ニ可若クハ否ナル一言ヲ以テ答ヘ得ヘキモノナルヲ要ス條件附ナリ
テ答ヘサル可カラサルカ如キ問ヲ爲スヲ得ス斯クテ其彌採決スルニ當リテハ
多數決ノ方法ニ據ルモノトス然レトモ茲ニ所謂多數決トハ過半數決ノ謂ニシ
テ敢テ比較的上ノ多數決ヲ云フニ非サルナリ假例ハ茲ニ百六十名ノ議員アリ
トシ或ル議案ニ付キ其說分レテ三ト爲リ甲說ヲ取ル者六十名乙丙各自五十名

ツツナリト假定セヨ此場合ニ於テ甲説ヲ取ル者ハ乙ニ對スルモ亦丙ニ對スルモ等シク多數ナルニハ相違ナシト雖モコハ只比較的上ノ多數タルニ過キスレテ到底八十一名以上アルニ非サレハ之ヲ過半数ナリト云フヲ得ス所謂多數決トハ實ニ後者ヲ指スモノナリ

又可否ニ付キ其答ヲ表セシムル儀式ニハ種種アリテ或ハ起立スルト否トニ由リテ別ツ有リ此ノ如クスルモ尙ホ判然セサルトキハ一人ツツ之ヲ數フルコト有リ又實際ヲ目撃シタル者ノ言ニ據レハ英、獨等ニ於テハ議場ヨリ出ツルニ二箇ノ廊下アリテ可否其説ヲ異ニスル者ヲシテ各道ヲ別チテ議場ヲ出アレンメ爾時其頭數ヲ算シテ以テ採決スルニ在リト

第五 會議ヲ公開スルコト

國會ノ議事ハ通常之ヲ公開ス唯或ル場合ニ於テ特ニ政府ノ要求アルトキ及ヒ議長自ラ其必要アリト認メタル場合ニ限り之ヲ秘密ニスルコト有ルノミ然レトモ斯ク議會カ其議事ヲ公開スルヲ以テ原則ト爲ス所以ノモノハ即チ人民ノ代表者ナルカ故ナリト云フノ説ニ至リテハ未タ容易ニ之ニ信服スルコト能ハ

ス否予ヲ以テ見レハコハ專ラ單ニ政治上ノ便宜ニ出アタルモノニ外ナント信スルナリ

第六 議院ノ警察

議長ハ其職掌トシテ議院内ノ秩序ヲ保維セサル可カラス故ニ議院内ノ警察權ハ一ニ議長ノ有スル所ナリサレハ議場ニ於テ若シ規則ニ觸ルルノ議員アルトキハ議長ハ之ヲ制シ或ハ之ヲ譴責スルヲ得ヘキハ勿論假令傍聽人ト雖モ苟モ議事ノ妨害ト爲ル可キ所爲アルトキハ警察權ヲ以テ之ヲ制止スルヲ得ヘキノミナラス必要ノ場合ニ於テハ總テノ傍聽人ヲシテ退場セシムルコトヲ得ヘシ又議場非常ニ紊亂シ容易ニ制シ難キニ於テハ一時議會ヲ停止スルコトヲ得ヘシ

第七 兩院ノ關係

上下兩院ハ互ニ相待チテ國會タル一箇ノ職權ヲ行フモノナレハ若シ兩院ノ議ニシテ相一致セザランカ國會ノ議ハ即チ成立セサルモノナリ故ニ此場合ニ於テハ兩院ヨリ各委員ヲ出シテ協議會ヲ開キ以テ協議ヲ爲シ再ヒ之ヲ兩院ニ提

出シテ其決ヲ採ルモノトス
又兩議院間ノ交通ハ議員各自ニ於テ爲スモノニ非スモテ總テ議長ノ名義ヲ以テ爲スモノトス

又其一院ニ於テ議決セタル所ノモノハ通常之ヲ他ノ一院ニ通知ス可ク其通知ヲ受ケタル院モ亦之ヲ決議スルヤ更ニ元ノ一院ニ之ヲ返信ス可キモノトス

第十三章 國家ノ作用

以上述ヘ來リタル所ハ國家及ヒ國家ノ機關ヲ靜止セル有様ニシテ以下述ヘントスル所ノモノハ即チ國家及ヒ國家機關ノ作用ナリトス然レトモ予ハ其作用ニ付キ萬般ノ關係ヲ説明スルニ非ス只單ニ法理ノ範圍内ニ於テ之ヲ説明セント欲スルノミ要スルニ國家ノ活動即チ作用ハ其方法頗ル雜多ナリト雖モ之ヲ大別シテ立法及ヒ行政ノ二箇ト爲スヲ得ヘク其學派ノ異ナルニ由リ或ハ之ヲ三箇ニ大別シ立法行政及ヒ司法ト爲ス者アリ昔者國家ノ權力ヲ分チテ立法行政司法ノ三權トシ三權分立ノ說大ニ流行セシト雖モ今ヤ此說タル一般學者ノ

容レサル所ニシテ予モ亦其說ノ不可ナルヲ信スル者ナリ何トナレハ上來述ノルカ如ク國家ノ權力ハ單一分ツ可カラサルモノニシテ苟モ一國內ニ於テハ只一ノ高權ノ外復タ之ニ比ス可キ權利ナキモノナレハナリ三權分立ノ說タル實ニ法理ヲ違サカルノ甚シキモノナリト云フ可キ予ハ信ス其立法ト稱シ行政ト唱ヘ司法ト云ヒ各其名稱ヲ異ニスト雖モ等シク國家ノ權力ニ過キスモノ只其作用ノ方向ヲ異ニスル由リ呼フニ異ナル名稱ヲ以テスルノミ其實國權ヲ一箇ノ源泉ヨリ流出スルモノニ外ナラサルナリ
斯クテ前ニモ述フルカ如ク國家ノ作用ハ其學派ニ由リ之ヲ二箇ニ大別スルモノト別チテ三箇トスルモノトニアリト雖モ予ハ二箇ニ分類スルノ學說即チ別チテ立法行政ノ二トスルノ說ニ從フ者ニシテ以下此二者ニ付キ少シク講述セントス

第三編 立法

第十四章 法律

法律ニ二様ノ意義アリ體質上ノ法律及ヒ形式上ノ法律是ナリ今各箇ニ付キ少シク其意義ヲ討尋セン

第一 體質上ノ法律

前ニモ述フルカ如ク法規ナル語ハ或ル事實ノ存在スルモノニ對シ或ル法律上ノ結果ノ從フコトヲ指シタルモノニシテ殆ト規則ナルモノト相同シク只其種類ヲ異ニスルヲ以テ名ツクルニ法規ナル語ヲ以テスルナリ今自然規則ナルモノノ例ヲ舉クレハ彼ノ果實カ樹木ヲ離ルルト同時ニ地上ニ落ツルト一般人ヲ殺ス者ハ死刑ニ處セラル可シト云フトキハ則チ一箇ノ規則ヲ爲スモノナリ然レトモコハ即チ自然ノ規則ニ非スシテ實ニ法律上ノ規則ナリトス
去リナカラ單ニ人ヲ殺シタル者ハ死刑ニ處セラル可シト云フノミヲ以テハ未ダ之ヲ法律ナリト云フ可カラス故ニ此等ノ語カ讀本ノ中ニ記シ有リタレハトテ敢テ法律ニ非スシテ只詐言ヲ爲ス者ハ信用ヲ失フト云フモ一般法理上ニ於テハ何人モ之ヲ違奉スルノ義務ナク從ヒテ之ヲ實行セシム可キ權利ヲ有スル者アラサルナリ然レトモ一タヒ國家カ之ニ向ヒテ權力ヲ付與センカ變シテ純

然アル法律ト爲ルナリ然ラハ其權力トハ何ソヤ即チ命令ナリ而シテ此命令ハ實ニ彼ノ法規ヲ爲スナリ借國家ヨリ出テ法規ヲ爲ス所ノ命令ハ實ニ是體質上ノ法律ナリトス

第二 形式上ノ法律

形式上ノ法律トハ其中ニ包含スルモノノ如何ヲ問ハス或ル一箇ノ形式ヲ具備セル命令ヲ謂フナリ今之ヲ體質上ノ法律ト比照スルニ體質上ノ法律ニ在テハ其モノノ性質中ニ包含セルモノヲ基礎トシテ他ノ命令ト區別シタルモノニシテ假例ハ斯ノモノヲ含ムモノヲ法律ト稱シ之ヲ含マサレハ法律ト稱セスト云フカ如ク其中ニ含ムモノヲ主眼トシテ立テタル區別ナリト雖モ形式上ノ法律ハ之ニ反シ種種ナル命令ノ中ニ就キ形式ヲ標準トシテ立テタル名稱ナリトス斯ク述フルトキハ體質上ノ法律ニハ毫モ形式ナシト云フカ如シト雖モ敢テ然ラス只形式上ノ法律ニ伴フ所ノ形式ナキノミ一般普通ノ形式ハ等シク之ヲ有セリ換言セハ特ニ形式上ノ法律ト命名ス可キ形式ヲ具ヘサルモノトス
借體質上ノ法律ト形式上ノ法律トハ綱ト目主ト從トノ關係アリヤ否ラス故ニ

形式上ノ法律ハ敢テ體質上ノ法律ノ一部分ニ非ス又體質上ノ法律ハ敢テ形式上ノ法律ノ一部ニ非ス何トナレハ形式上ノ法律ニシテ體質上ノ法律ニ非サルモノ有リ又體質上ノ法律ニシテ形式上ノ法律以外ノモノ有レハナリ予カ上來述フルカ如ク法律ナル語ノ用法相異ナルニ從ヒ立法ナル語モ亦二様ニ使用セラル即チ一ノ場合ニ於テ立法ト云フトキハ體質上ノ法律ヲ發スル所ノ手續ヲ云ヒ又他ノ場合ニ於テハ單ニ形式上ノ法律ヲ發スル所ノ手續ノヨク云フコト有リ而モ後段ハ普通ノモノナリ

借立法ノ權ハ常ニ國家ニ在リ然レトモ立法權ヲ以テ直チニ主權ナリト述了ス可カラス立法權ハ國家ノ高權ヨリ涌出スル一箇ノ權力タルニ過キス換言セハ立法權トハ國家高權ノ一種ノ活動ヲ意味スルモノナリサレハ國家ノ權力以外ニ於テ別ニ立法權ナルノモノ存在スルモノニ非サルナリ果シテ然ラハ立法權トハ抑如何ナル權力ナルヤト云フニ至リテハ予ハ云ハントス立法權トハ法律ヲ裁可スルノ權力ニシテ單ニ法律ノ立案ヲ爲シ或ハ法律ノ發議ヲ爲スカ如キナ云フモノニ非スト故ニ彼ノ政府ヨリ提出シタル法案ヲ議決スルニ止マル國

會ノ如キ之ニ立法權アリト云フ可カラズ其如何ナル場合タルヲ問ハス必スヤ立法權ハ法律ヲ裁可スル權利ヲ有スル者ノ許ニ存在ス可キモノナリ何トナレハ法律案ハ實ニ裁可ヲ竣テ始メテ真正有效ナル法律トナルモノニシテ縱令議決協贊等アリタレハトテ之ヲ裁可セサル以上ハ尙ホ依然トシテ法律案ニ過キサレハナリ

第十五章 勅令

勅令ナル語ノ意義ニ付テモ亦二說アリテ其第一說ニ依レハ勅令トハ國家ノ行政命令、執行命令ニシテ政府又ハ君主ヨリ委任セフレタル範圍内ニ於テ發スル命令ナリトシ第二說ニ依レハ勅令トハ予カ前ニ述ヘタル形式上ノ法律ト同種ノモノニシテ其者自身ハ毫モ異ナル所ナク只未タ國會ノ協贊ヲ經サルト云フノ一事ヲ以テ之ヲ勅令ト稱スルモノナリト云ヘリ然レトモ上ノ二說ハ何レモ未タ十分ニ勅令ナルモノヲ説明シタルモノナリト云フサ得ス何トナレハ勅令ニシテ行政命令、執行命令ニ非サルモノ有リ又勅令ハ必スシモ形式上ノ法律ト

同種ナリト斷言スルコト能ハサルモノ有レハナリ
 夫レ然リ果シテ然ラハ勅令トハ抑、如何ナルモノナク云フニ凡國家ナ
 モノハ數多ノ命令ヲ發スルノ權アルコトハ既ニ前ニ述ヘタル所ナカ
 ル一定ノ法式ニ依リテ發スル所ノ命令即チ形式上ノ法律ヲ除キ自餘一切ノ命
 令ヲ稱スルモノトス而シテ此勅令ニ二アリ(一)執行勅令(二)獨立勅令是ナリ
 執行勅令トハ法律カ與ヘタル所ノ範圍内ニ於テ發スル命令ニシテ即チ法律ヲ
 執行スルモノナリ故ニ執行命令ハ常ニ法律ノ下ニ位ス可クシテ到底法律ヲ侵
 スコト能ハス其效力ハ即チ法律ヲ以テ限ラル可キモノトス
 獨立勅令トハ如何ト云フニ抑、國家カ命令ヲ發スルニ當リテハ或ル部分ノ事柄
 ニ關スルモノハ必ス國家ノ協賛ヲ要ス可キコトヲ憲法中ニ於テ定ムルハ通常
 トス而シテ此種ノ命令ニシテ國會ノ協賛ヲ經タルモノハ即チ法律トナルモノ
 トス然ルニ君主又ハ政府ハ其種類ニ非サル事柄ニシテ即チ法律ノ支配ス可キ
 範圍ノ外ニ於テ國會ノ協賛ヲ要セスシテ命令ヲ發スルヲ得ヘキ自由ノ範圍ア
 リ而シテ此範圍内ヨリ出ツル所ノ命令ハ實ニ是獨立勅令ナリトスサレハ此種

ノ勅令ハ恰モ法律ト其地位ナ同クシテ又其效力ニ至リテモ法律ト同等ナルヲ以
 テ敢テ法律ノ制限ヲ受クルコト無キモノトス
 以上子ハ勅令ノ何モノタルヤヲ述ヘタルヲ以テ今ヤ章ヲ改メントスルニ當リ
 念ノ爲メ諸君ニ一言シ置カン即チ勅令ト法律トノ二者ヲ除キテハ國家直接ノ
 命令ナルモノ無キコト是ナリ故ニ國家カ命令ヲ爲スハ必スヤ此二箇ノ方法ニ
 據ルノ外アラサルモノトス

第十六章 法律ノ效用

凡ソ體質上ノ法律ト形式上ノ法律トナ問ハス此カ效用ハ其中ニ規定ナル所ノ
 事柄ニ依リテ定ムルモノトス而シテ其規定スル事柄タル種々多固ヨリ一定
 セサルヲ以テ從ヒテ其效用モ亦種種ニシテ敢テ一定スル所アラサルナリ然レ
 トモ概言セハ人ノ自由ナル行爲ニ向ヒテ共同生活ヲ爲スニ必要ナル範圍制限
 ナ與フルヲ以テ法律ノ效用ナリト云フヲ得ヘシ今人ニハ果シテ自由ノ意思ア
 リヤ否ヤハ措テ之ヲ論セサル可シト雖モ或ル程度内ニ在テ吾人カ自由ナル行

爲ナ爲シ得ルハ固ヨリ瞭然ノコトニシテ毫モ疑アラズ其自由ナル行爲ニ向ヒテ或ル一定ノ制限ヲ與ヘ國家的共同ノ生活ヲ爲スコトヲ得セシムルモノハ即チ法律ノ效用ナリトス而シテ其制限タルヤ或ル爲スコトヲ命シ又ハ或ル爲スコカラサルコトヲ命スルニヨリテ與フルモノトス換言セハ法律ハ斯ク斯クノ事柄ヲ爲スコシ或ハ爲スコカラスト命令スルモノナリ

夫レ然リ既ニ此ノ如ク法律ハ人類ノ自由行爲ニ向ヒテ一定ノ範圍制限ヲ指示スル命令ナル以上ハ必スヤ其命令ノ依リテ起ル所ノ對手トナルモノ無カル可カラス而シテ其對手タル可キモノハ人民ト官府トノ二者ヲ除キテハ又他ニ是アル可カラス從ヒテ法律ハ人民ニ對スルモノナルカ將又官府ニ對スルモノカノ外之アラサルナリ然レトモ茲ニ一ノ注意ヲ要スルモノ有リ他ナシ法律中ニハ國家自身ノ行爲ノミニ關スルコトヲ規定セルカ如ク見ユルモノ有リ即チ彼ノ憲法ノ如キヲ見ヨ統治權ノ歸スル所ヲ示シ國家機關ノ組織ヲ定メ統治權作用ノ方法ヲ規定スル等總テ國家自身ノ行爲ニ關スルコトヲ規定スルモノノ如ク敢テ他人ノ行爲ニ付キ規定スルカ如キ外見ナケレハナリ之ヲ以テ彼ノ君主

權力ノ制限セラル可キコトヲ唱導スル論者ハ即チ曰ク此場合ノ如キ國家ハ自己ヲ制限スルモノナリト是國家ハ自己ニ對シテ命令ヲ得ルモノナリト云フニ同シ然レトモコハ只外見ノ爲メニ設置セラレタル淺見而已何トナレハ一度命令ナル語ヲ使用スル以上ハ既ニ優者ト劣者ノ存在スルコトヲ豫知セラル可カラズ即チ命令ヲ發スル者ハ優者ニシテ之ヲ受クル者ハ劣者ナレハナリサレハ國家カ自己ニ命令スト云フカ如キ語ヲ爲サント欲セハ唯一ナル國家權ヲ二分シ一ハ之ヲ優者トシ一ハ劣者トシテ以テ思考スルニアラスンハ能ハサル可シ然リト雖モ再三述フルカ如ク國家ノ權力ハ單一ニシテ分チ得ヘキモノニ非ス若シ強テ之ヲ上述ノ如ク優劣ノ二者ニ別タンカ其別チタル所ノ二者ハ業已ニ國家ニ非サルナリ否然リ別チテ其優者ト稱スル所ノ一部ノ權力ノミテ成ハ國家ナルヤモ未タ知ル可カラサルナリ故ニ命令ナルモノハ其性質トシテ自己ニ對シテ發シ得ヘキモノニアラサルナリ果シテ然ラハ上ニ引續シタル憲法ノ如キモ亦國家ノ行爲ヲ規定シタルモノニ非スト云フヲ得ヘキカ更ニ進ミテ憲法ハ何人ニ對スルノ命令ナリヤト云フニ是亦敢テ國家自身ニ對スルノ命令ニア

ラスレテコハ即チ直接ニハ國家權ヲ作用スル官府ニ對シ間接ニハ人民ニ對スルノ命令ニ他ナラス故ニ法理上ヨリ論スルトキハ斯ル法令ヲ廢止或ハ變更セシコトハ一ニ國家ノ權内ニ在ルモノトス

舊法律效力ノ及フ可キ區域如何ト云フニ通常一區域ヲ爲セル國家權ノ及フ可キ土地即チ一國ニ相伴フナリ約言セハ法律ノ效力ハ一國全土ニ限ルト通常トス然レトモ必スシモ全土ト限ルモノニ非スシテ或ハ國境以外ニ出ツルコト有ルト同時ニ又國土全體ニ及ハサルコト有ルトナレハ上述スルカ如ク元來法律ハ人民若クハ官府ニ對スルノ命令ナルヲ以テ若シ其國民ニシテ自國ナ出テ外國ノ境内ニ入リタルトキト雖モ內國法律ノ效力ハ絶ヘス其人ニ附著セルヲ以テ此場合ニ在テハ縱令國境以外ナリト雖モ法律ハ其效力ヲ及ハスモノトス然レトモ法律ハ必スシモ全國一般ニ對シテ布カサル可カラサルモノニ非サレハ全國中或ル部分ヲ除キ其他ニ對シテ布クコト有リ或ハ又之ニ反シテ成ル一部ニシテ實行シ他ノ大部分ニハ之ヲ及ハササルコト有ルナリ

又法律チシテ效力ヲ生セシムルノ時期ハ國家ニ於テ特別ニ之ヲ指示スルコト

ヲ要ス然レトモ通常法律ハ之ヲ發布シタルコリ其效力ヲ生スルニ至ルノ間ニ在テ施行期間ト稱スル幾分カノ猶豫時日ヲ置クモノトシ去リ年ノ其發布ト同時ニ效力ヲ有セシムルコトハ全ク國家ノ隨意ナリトス

借上ニ述フルカ如ク法律ニ施行期限ヲ設クル所以ハ人民ノシテ其法律ノ規定セル事柄ヲ周知セシメントスルノ目的ニ出ツルモノトス然レトモ茲ニ又一ノ注意ヲ要スルモノ有リ即チ施行期限到著ノ日ヲ以テ法律ノ效力ヲ生ス可キ日ト定ムルト其日ヲ以テ普ク人民カ法律ヲ周知セタル日トスルトノ別ニ依リ法律ヲ實行スルニ付キ實際上差異アルコト是ナリ而シテ前主義ハ獨乙ニハハルルモノニシテ後者ハ佛國ニ行ハル主義ナリトス其期限ノ終日ヲ以テ法律ノ效力ヲ生ス可キ日ト定ムルトキハ縱令人民ハ之ヲ周知スルトトテ同ハス尙モ定期ノ日數ヲ經過スルトキハ法律ハ直ニ其效力ヲ生ス可キモノ有リ何トシレハ其目的タル固ヨリ人民ノ周知ナ期スルモノナリト雖モコトハ只立法ノ精神ニ止マルヲ以テ已ニ法律トナリタル以上ハ即チ法律ノ效力ヲ生ス可キ猶豫期限トナルモノナリ故ニ人民ノ周知スルト否トニ拘ハラス其期限ノ到著ト共

法律ハ完全ナル效力ヲ生スルモノトス
 之ニ反シテ佛國ノ如ク其期限ヲ以テ他クマテモ周知ノ目ナリトスルノ主義ニ
 ヨルトキハ由ヤ其期限ハ到著スルモ已ニ述フルカ如ク必ス直チニ效力ヲ
 生スルモノニ非ス詳言セハ人民ニ周知セシムルコトハ獨リ立法ノ精神タルノ
 ニテラス亦制法ノ精神ナルヲ以テ其期限ハ到著スルモ若シ人民ニ周知セシ
 サルノ證據アルトキハ法律ハ未タ其效力ヲ生ヒサルモノトシテ免カレザル
 ナリ

以上ハ法律カ效力ヲ生スルニ付キ二箇ノ差異アルコトヲ述ハタリモノトレカ
 然ラハ國家カ法律ヲ廢止スルトキ換言ヒハ從來有スル法律ノ效力ヲ消滅セシ
 アルニハ如何ナル行爲ヲ要スルヤト云フニ此場合ニ於テハ必ス新ナル法律ヲ
 以テスルコトヲ要スルモノニシテ即チ新法中明カニ舊法ヲ廢止スルノ記載アル
 ルカ或ハ暗黙ニ舊法ヲ廢止スルコトヲ示スカ又ハ舊法ト相兩立ヒサル事情ノ
 規定アルニ因リテ前法律ハ其效力ヲ失フモノトス然レトモ或ハ場合ニ於テハ
 特ニ新法ノ出ツルヲ待タスシテ自然ノ消滅ヲ來スコト有リ縱令ハ其法律中ニ

規定セル事實ノ消滅シタルトキノ如キ即チ其法律ノ目的トスルモノハ既ニ爲
 有ニ歸シタルモノナレハ此場合ニ於テハ特ニ法令ヲ廢シテ此カ取消ヲ爲サス
 トスルモ法律ハ自ラ消滅ニ歸スルモノトス

第四編 行政

第十七章 行政ノ本義

行政トハ何ソヤ人或ハ曰ク行政ハ法律ヲ執行スル國家ノ行爲又ハ命令ナリト
 果シテ然ランカ若シ法律ナキトキハ從ヒテ行政モ亦之ナシト云ハサル可カラ
 ス然レトモ此説タル甚タ不當ナルノミナラス全ク事實ニ反スルモノナリ今ヨ
 リ余カ行政ニ付キ講述スルニ當リ諸君ハ暫ク此種ノ説ハ全ク之ヲ忘レ慮心ヲ
 以テ聽聞セラレンコトヲ望ムナリ

凡ソ人ハ各意思ヲ有シ之ニ從ヒテ行爲ヲ爲スノ自由アルト同シク國家モ亦一
 箇ノ意思ヲ有シ其向フ所ニ從ヒテ行爲ヲ爲スノ自由ヲ有スルモノナリ而シテ

又人ノ行為ハ自然上或ル範圍内ニ於テハ自由ナレトモ法律ニ依リテ制限ヲ受ケ之ヲ限ラルルト同シク國家モ亦法律ニ依リテ其行為ノ範圍ヲ定メラルルモノトス斯クテ其法律ノ範圍内ニ於テ國家ノ行フ所ノ行為ハ即チ行政ナリトス然レトモ各箇人カ法律ノ範圍内ニ於テ爲スノ行為ト國家カ法律ノ範圍内ニ於テ爲スノ行為即チ行政トハ全ク一樣ナルニ非ス何トナレハ元來各箇人カ有スル生活ノ目的ト國家ノ有スル生活ノ目的トハ相異ナルヲ以テ從ヒテ其目的ノ爲メニ爲ス可キ事柄モ亦相異ナルニ至ルモノナレハナリ

然ラハ行政トハ如何ナルモノナルヤト云フニ行政トハ即チ法律ノ範圍内ニ於テ活動スル國家ノ行為ニシテ敢テ法律ニ依リ又ハ法律ヨリ生シタル行為ニ非ス詳言セハ行政ハ其源ヲ法律ニ汲ムモノニ非スレテ全ク國家ノ意思ヨリ涌出スルモノナルコトハ恰モ吾人ノ行為ハ總テ吾人ノ意思ニ出テ敢テ法律ニ因リテ流出スルモノニ非サルト一般ナリ例ヘハ商賈カ商業ヲ爲スニ付テハ常ニ商法ナル法律ニ則ルト雖モ其商業ヲ爲スノ行為ニ在テハ全ク商賈自身ノ意思ニ出ツルモノニシテ敢テ商法ヨリ出ツルモノニ非ス即チ商法ハ單ニ其行為ヲ限

ルノ準繩タルニ過キサルト同シク國家ノ行為ニ在テモ亦法律ヲ執行スルモノ敢テ行政ニ非ス國家ハ其有スル目的ヲ達センカ爲メ種種雜多ノ行為ヲ爲ササル可カラス而シテ其之ヲ爲スニ付テ或ル一定ノ限界ヲ與フルモノハ即チ法律ナリトス

諸行政ハ法律ヨリ出ツルモノニ非サルコトハ前已ニ述フル所ノ如シ而シテ法律ハ執行ス可キモノニ非スシテ準據ス可キモノナリ約言セハ法律ハ據ル可クシテ行フ可カラサルモノ即チ法律ハ一定形ヲ作ス模型タルニ止マリ法律自身ハ毫モ活動スルモノニ非サルナリ

行政ヲ形ツクル法律ニ二種アリ第一種ニ屬スルモノハ行政ヲ爲スニ付テ必要ナル法律ニシテ第二種ハ即チ行政ニ便利ナル法律ナリ以下各場合ヲ分チテ少シク述フル所アラシ

第一 行政ニ必要ナル法律

上來屢々講述スルカ如ク行政ハ其源ヲ國家ノ意思ニ汲ムモノニシテ即チ國家カ其意思ニ從ヒテ行フ所ノ行為ハ行政ト爲ルモノトス故ニ若シ國家カ此理由

由リ常ニ其意ノ向フ所ニ從ヒテ行爲ヲ爲ストキハ所謂專制政治ト爲ルカ
 レス然ルニ現時ノ法治國(法治國トハ即チ一定ノ法律ヲ設ケ之ニ依リテ政治ヲ
 爲スノ邦國)ニ在テハ斯ル專制政治ノ行ハルルコト無キハ何ソヤ他ナシ此等ノ
 邦國ト雖モ法理上ニ於テハ行政ハ他クマアモ國家ノ意思ヨリ流出シ其意思ノ
 向フ所ニ由リテ行ハル可キモノナリト雖モ實際上ニ於テハ散放ノ任意ニ之ヲ行
 ハス即チ一定ノ法律ヲ設ケ常ニ之ニ從ヒテ實行シ其法律ヲ以テ行爲ノ限界ト
 セルナリ今一例ヲ設ケ吾人カ上野ニ散歩スルノ行爲ヲ以テ行政ナリト假定セ
 ヲ散歩ハ即チ吾人ノ意思ヨリ出ラルモノナレハ吾人ハ何レノ道ヲ取リテ行ク
 モ自由ニシテ或ハ車馬ニ乘スルモ徒歩スルモ石階ヲ上ルモ精養軒前ヲ過クル
 モ不忍池畔ヲ行クモ隨意ナリ然ルニ若シ散歩ニ關スル一箇ノ法律アリテ散步
 スルハ必スヤ上野公園内ニ限ル可キコトヲ定ムルニ於テハ吾人ハ即チ行爲ノ
 幾分ヲ制限セラレタルモノニシテ爲メニ公園以外ヘハ一步ト雖モ踏出スコト
 能ハサルニ至ル可シ是散歩スルノ行爲ハ自己ノ意思ヨリ出ツルモノナリト雖
 モ其行爲ニ付テハ法律ノ制限ヲ受クルモノトス然レトモ單ニ斯ル制限アルノ

ミナルトキハ苟モ公園内ヲ離レサル以上ハ尙ホ自由ニ散歩スルコトヲ得ヘキ
 ナリ故ニ斯ノ如キ制限即チ法律アルノミニテハ未タ真正ナル開明法治國ノ有
 様ナリトハ云フ可カラス法治國ニ於テハ更ニ法律ヲ以テ細密ニ之ヲ規定シ例
 へハ

立ツ可シ門戶ヲ出ツ可シ車馬ニ乘ス可カラス石階ヲ上ル可カラス精養軒前
 ナ過キ東照宮鳥居前ニ到リ一折シテ美術學校前ヲ經彰義隊ノ墓前ヲ過キ高
 臺ニ出テ楯比セル家屋結輝タル車馬渺茫タル東京灣突元タル淺草五重塔ヲ
 望ミ須ラク石階ヲ下リテ歸路ニ就クヘン

ト云フカ如ク即チ一舉手一踏足總テ法律ヲ以テ規定スルモノハ實ニ法治國ノ
 現狀ナリトス

夫レ此ノ如ク細密ニ規定セル法律アリト雖モ尙ホ散歩ヲ爲スト否トハ一ニ吾
 人ノ意中ニ存在スルモノニシテ敢テ法律カ吾人ニ向ヒテ之ヲ強ヒ或ハ防止ス
 ルモノニ非ス只之ヲ爲スニ當リテハ其法律ニ依ルニ非サレハ寸歩モ爲スコト
 能ハサルノミ然レトモ是皮相上ヨリ見ルトキハ恰モ法律ニ依リテ散歩ナル行

爲ノ生シタルカ如キ觀ナキニ非サルナリ
以上余ノ述フルカ如キ理由ナルヲ以テ法治國ニ於テハ苟モ法律ナキニ於テハ
行政ナシ詳言セハ法律ノ規定ナキニ於テハ行政官ハ其行爲ヲ爲スコト能ハス
從ヒテ臣民モ亦法律ナキニ於テハ敢テ義務ヲ負フモノニ非ス是此種ノ法律カ
行政ニ必要ナル所以ナリ何トナンハ此種ノ法律ナキニ於テハ行政ハ終ニ之
爲スコト能ハサレハナリ

又此種ノ法律ハ國家カ主權者ノ地位ニ在テ國家權ヲ行フニ付テノ法律即チ臣
民ヲ統御スルニ關スル法律ニシテ全ク公法ノ性質ヲ帶フルモノナリトス

第二 行政ニ便利ナル法律

前段ニ於テ述フルカ如ク行政ニ必要ナル法律ハ即チ國家カ主權者ノ地位ニ在
テ臣民ヲ統御スルニ必要ナル法律ナリ然リト雖モ國家ハ必スシモ主權者ノ地
位ニ立チテノ臣民ト關係ヲ有スルニ止マラス或ル場合ニ於テハ法律上臣民
ト同等ノ地位ニ在テ事ヲ取ルコト有リ例ヘハ鐵道郵便電信事務ヲ取扱フ場合
ノ如シ今鐵道ノ場合ニ付テ見ルニ政府ハ鐵道ヲ布設シ人民ヲシテ其便ニ由ル

コトヲ得セシメ以テ賃錢ヲ收入シ人民ハ即チ其賃錢ヲ支拂ヒ鐵道ヲ使用セシ
ムルモノニシテ全ク民法上ノ行爲ニ外ナラサレハ此場合ニ於ケルノ國家ハ即
チ人民ト同等ノ地位ニ立チテ關係ヲ結フモノナリト云フ可ク其電信或ハ郵便
ノ場合ニ於ケルモ亦同シ故ニ斯ル事柄ヲ爲スニ付テハ總テ一般民法ノ規定ニ
依リテ毫モ差支アルコト無ク即チ日本鐵道會社カ旅客ヲ運送スルノ規則ヲ以
テ政府カ旅人ヲ運送スレハトテ敢テ不都合アルヲ見ス然ルニ國家ハ其便宜ノ
爲メ民法外ニ於テ特ニ此等ノ關係ヲ規定セル法律ヲ作ルコト有リ例ヘハ鐵道
條例郵便規則ノ如キ是ナリ故ニ此種ノ規則中ニハ一般民法ノ取除トモ謂フ可
キ箇條抄ナカラサルモノトス然レトモ上ニモ述フルカ如ク此種ノ法律タルヤ
行政ヲ爲スニ當リ敢テ必要缺ク可カラサルニ非ス只便宜タリ都合タルノ爲メ
ニ作ルモノニ過キサレハ之ヲ行政ニ便宜ナル法律ト謂フナリ
以上述ヘタルカ如ク法律ハ其行政ニ付テ規定スルノ精粗ニ關セス常ニ行政ト
ハ相分立スルモノナリ然レトモ實際上ニ於テハ法律ト行政トノ境界ハ確然タ
ルヲ得ス何トナレハ永久ノ間行政カ幾度モ繰返シツツ同一ノ事ヲ行フトキハ

以テ行政上ノ慣習ヲ爲シ尙ホ久シキヲ經ルニ從ヒ終ニ法律ト爲リテ爾後現出スル行政ノ模範ト爲ルコト有レハナリ故ニ行政及ヒ法律ノ間ニハ到底永久相混ス可カラサル限界アルニ非サルナリ
借余ハ今本章ヲ終ルニ臨ミテ一ノ注意セサル可カラサルモノ有リ他ナシ以上余カ述ヘ來リタル所ノ法律ナル語ハ即チ體質上ノ法律ノ謂ニシテ彼ノ形式上ノ法律ニ非ス何トナレハ形式上ノ意味ニテ云フトキハ行政上ニモ法律アリ法律上ニモ亦行政アルモノナレハナリサレハ行政ト對照シテ稱スル場合ノ法律ナル語ハ常ニ體質上ノ法律ナリト知ラル可シ

第十八章 行政ノ實行

行政ハ即チ國家ノ政務ヲ執行スル行爲ニシテ其行爲ニ種種アリ或ハ法律ノ範圍内ニ屬スルモノ有リ或ハ尠モ法律ノ世界ニ關係ヲ有セサルモノ有リ而シテ其法律世界ニ屬セサルモノハ今憲法原論ニ於テ論スルノ限ニ在ラサルヲ以テ余ハ只法律ニ關係スル政務ノ事ニ付テノミ講述ス可シ

即チ法律ニ關係セル政務ノ行爲ニ二アリ命令及ヒ契約是ナリ以下順次之ヲ説カン

第一 命令

命令トハ國家カ其目的ヲ達センカ爲メ人民ニ向ヒテ行爲或ル事ヲ爲サシム又ハ不行爲(或ル事ヲ爲ササラシム)ヲ望ムノ命令ヲ發シ或ハ諸官府ヲシテ之ヲ發セシムルモノヲ云フ

然レトモ茲ニ所謂命令トハ前已ニ余ノ述ヘタル所ノ法律ノ要素タル命令トハ異ナルヲ以テ敢テ混同セサランコトヲ要ス

斯クテ右ノ命令タル法治國ニ在テハ常ニ必ス法律ニ適セサル可カラスニテ敢テ或ハ法律ノ範圍外ニ逸シ若クハ法律ニ矛盾ス可カラサルナリ其理由タル先キニ行政ニ必要ナル法律ヲ講スルニ當リテ述ヘタル所ニ就テ明カニス可シ又行政ノ命令ハ之ニ加フルニ其宜キヲ得サル可カラス所謂宜キヲ得ルトハ國家ノ生存ヲ遂クルニ適當ナルトノ謂ナリ故ニ國家ノ生存ヲ妨害スルモノノ如キハ不可ナリ是勿論ノ義ニシテ他ノ官府ヲシテ發セシムル命令ノ場合ニ於テハ

特ニ必要ナリトス

又國家ノ行政命令ハ單ニ之ヲ發シタルノミ即チ國家ノ一方ニ於テノ行為ニテハ未ダ足レリトセス必スヤ其命令ヲ受ク可キ者ニ之ヲ知ラシムルコトヲ要ス即チ官府ニ對スルノ命令ナルトキハ官府人民ニ對スルノ命令ナルトキハ人民ニ必ス之ヲ知ラシメサル可カラサルモノナリトス

第二 契約

國家ハ或ル目的ノ爲メニ一箇人ノ資格ヲ以テ人民ト民法上ノ契約ヲ締結スルコト有リ是亦行政ノ一部分ニ屬ス例ヘハ前ニ引例シタルカ如ク鐵道、電信、郵便事務ノ如キ其適例ニシテ即チ鐵道ノ場合ニ於テハ乘客ハ貨錢ヲ鐵道局ニ納メ以テ自己ノ身體或ハ貨物ヲ運送セシメ郵便、電信ニ在テモ亦相當ノ報酬ヲ出シテ通信ヲ通セシムル等人民ヨリ之ヲ見ルトキハ皆是政府ト締結スル一箇ノ普通ノ契約ニシテ政府ヨリ見ルトキハ即チ一箇ノ行政ナリトス然レテ此等ノコトニ付テハ全ク一般民法ノ規定ニ依ル可キ本則トス然ルニ政府ハ便宜ヲ計リ特ニ民法ノ例外トシテ法律ヲ設クルコト有リ舊テ述ヘタル鐵道條例、郵便條

例、電信條例ノ如キ即チ是ナリ

而シテ此等法律中ニ於テハ一箇人ノ資格ヲ以テハ到底爲スコカノサルコト有リ即チ罰則ヲ設クルカ如キコト是ナリ故ニ此等ノ法律タル實ハ民法ノ取除ト稱ス可キモノナリトハ云ヘ其大部分ニ於テハ純然タル公法ニ屬スルモノ有リナリ

又人民ト直接ニ契約ヲ締結スル者即チ行政ヲ取扱フ者ノ資格ニ在テモ通常民法上ニ於テ一箇人ノ爲ス代理ノ如ク委任狀ヲ要スルモノニ非ス換言セバ政府カ其都度委任狀ヲ出シ人民ハ其委任狀ヲ見タル上ニテ契約スルモノニ非スンテ其資格ハ官制即チ公法ニ依リテ一定セルモノナリトス

斯ク行政行為ハ國家カ直接ニ爲ス場合ノ外上下種種ナル官府ニ於テ之ヲ爲スモノナルカ故ニ或ハ相互ノ間反對ノ方向ヲ取ルノ行為ニ出テ相衝突矛盾スルコト有ルノミナラス甚タシキニ至リテハ國家自身ノ目的ニ背反スル行為ナキヲ保スコカラス故ニ之ヲ統一シテ以テ單純ノ方向ヲ取ラシメンカ爲メニハ最高ノ行政ヲ以テ指揮監督スルモノ無カル可カラス而シテ其監督ノ方向ニ三種

アリ

(一) 財政ノ監督

此監督ノ主トスル所ハ國家ノ出納ハ果シテ法律ニ適合スル至當ノモノナルヤ否ヤヲ監督スルモノニシテ會計検査院ノ職トスル所即チ是ナリ

(二) 法律上ノ監督

此種ノ監督ハ國家ノ行政ヲ爲ス諸官府ノ行爲ハ敢テ法律ニ背反スルコト無キヤ否ヤヲ視察シ若シ法律ハ背反矛盾スルノ行爲アルトキハ之ヲ矯正スルニ在テ即チ普通裁判所及ヒ行政裁判所ノ如キ是ナリ

(三) 政治上ノ監督

此種ノ監督ニ在テハ行政ハ果シテ國家ノ目的ニ適合スル方針ヲ取ルヤ否ヤヲ監視スルニ在リ而シテコハ主トシテ君主ノ爲ス所ニシテ又或ハ國會ノ關係スル所ナリトス

第十九章 司法

各國ノ制度ヲ通覽スルニ立法行政司法ノ三權並立セルヲ以テ通常トス然レトモコハ政治上ノ現象ナレハ余カ前述シタル立法行政ノ意義ニ依リテ考察スルトキハ立法及ヒ行政以外ニ於テ司法ナルモノノ在ル可キ筈ナク司法ハ畢竟行政ノ一部タルニ過キサルナリ然ラハ司法トハ果シテ如何ナルモノナルヤト云フニ即チ法律ヲ適用シテ以テ臣民ノ權利ヲ保護スルモノニシテ前ニ余ノ述ベタル行爲即チ法律ノ範圍内ニ於テ行フ所ノ國家ノ行爲是ナリ故ニ法理上ヨリ觀察スルトキハ司法官府ノ爲ス所ト行政官府ノ爲ス所トハ其間ニ差モ異ナル所アラサルナリ

或ハ曰ク司法官府ハ特ニ不羈獨立ノ性質ヲ有スルモノニシテ此點ハ實ニ他ノ行政官府ト異ナル所ナリト然レトモ余ハ信ス獨立ノ性質ヲ有スルモノ必スモ司法官府ニ限ラサルナリト何トナレハ彼ノ會計検査院ノ如キ敢テ司法官府ニ非スト雖モ亦不羈獨立ノ性質ヲ有スルモノナレハナリ然レトモ假ニ一步ヲ讓リ獨立不羈ノ性質ヲ有スルモノハ特ニ司法官府ノミナリトスルモ尙ホ之ヲ以テ他ノ行政官府ト區別スルノ法理ニ至リテハ到底之ヲ發見スルコト能ハサ

ルナリ

或ハ又曰ク司法官府ハ總テ論理的ノ推測ニ依リテ事ヲ判断スルモノニシテコ
ハ實ニ他ノ行政官府ト異ナル所ナリト此言亦不可ナリ何トナレハ他ノ行政官
府ト雖モ固ヨリ論理的ノ推測ニ依リテ法律ヲ判断シ以テ事ヲ處スルモノナレ
ハナリ

或ハ又曰ク司法官府ハ單ニ法理ニノミ依リテ事ヲ處理シ他ノ行政官府ハ事ノ
宜キニ從ヒ自己ノ見込ヲ以テ事務ヲ處理ス之實ニ兩者ノ間ニ存在スルノ區別
ナリト是亦不可ナリ何トナレハ司法官府ト雖モ亦事ノ宜キニ從ヒ自己ノ見込
ニ依リテ事務ヲ處スルコト彼ノ酌量減刑ノ場合ノ如キ或ハ加重ノ場合ノ如キ
モノアレハナリ
之ヲ以テ見ルトキハ結局司法モ亦行政ノ一種ニシテ例ヘハ彼ノ外務、財政、郵便
電信等ノ事務カ行政中ノ一種類ニ屬スルト一般單ニ行政中ノ一種類ノ事務ノ
擔當セルモノニ外ナラサル可シト信スルナリ

第二十章 行政ノ岐分

單ニ行政ト稱スルトキハ甚タ簡單ナルモノノ如シト雖モ凡ソ國家カ行政トシ
テ爲ス所ノ事務ハ種種様雜多端ニシテ到底一官府ノ得テ盡シ得ヘキモノ
ニ非サルナリ故ニ政治上ノ便宜ヲ計リ分業ノ法ニヨリ數種ニ分チテ以テ之ヲ
執掌セシムルヲ通常トス然レトモ其分別ノ方法ニ至リテハ各、盡ク一様ナラザ
ルノミナラス其數ニ至リテモ亦多少ナキ能ハサルナリ去リナカラ今之ヲ大別
スルトキハ正ニ左ノ二種ニ歸著ス可シ

- 第一 國家カ統御者トシテ統御上必要ナル事務
- 第二 統御上必要ナルニ非スト雖モ便宜上一私人ノ資格ヲ以テ執ル所ノ事
務

是ナリ即チ之ヲ約言スルトキハ第一ハ權力上ノ事務ニシテ第二ハ財産上ノ事
務ナリトス而シテ第一ニ屬ス可キモノハ外務、軍務、司法、財政、貨幣等ノ事務ニシ
テ第二ニ屬ス可キモノハ郵便、電信、鐵道、銀行等ノ事務及ヒ農、工、商ノ事ニ關スル

事務中或ル部分ノ如キ是ナリ

サレハ右第一ノ場合ニ属スル事務ハ國家ヲ統御ヲ爲スニ付キ必要缺ク可カ
サルモノ即チ統御ヲ爲ス必然ノ結果トシテ生出スルノ事務ニシテ到底他人ニ
任シテ之ヲ爲サシムルコト能ハサルモノトス

之ニ反シテ第二ノ事務ニ在テハ必スシモ國家自ラ之ヲ爲スヲ要セサルモノナ
リ何トナレハ彼ノ貸錢ヲ得テ以テ他人ノ消息ヲ媒介スル電信事務ノ如キ成ハ
寄類ヲ運送スル郵便事務ノ如キ或ハ旅客ヲ運送シ荷物ヲ運搬スル鐵道事務ノ
如キニ在テハ一私人若クハ會社ナシテ之ヲ爲サシムルモ差支ナキノミナラス
却テ正當ノ事ナリト云フ可シ然ルニ國家自ラ之ヲ爲ス所以ノモノハ他ナシ政
治上必要ノ爲メ便宜上ニ出テタルモノニシテ實ハ人民ニ代ハリテ爲ス所ノ事
務ナリト云フモ可ナリ

以上述フル所ヲ以テ不完全ナカラモ余ハ憲法原論ノ講義ヲ終リタルヲ以テ今
本論ヲ閉ツルニ當リ各國行政事務ノ分類ヲ舉示シ以テ諸君ニ使セントス

一、外務 何レノ國ニモ必ス之アリ專ラ外事ニ關スルコトヲ掌トル

二、軍務 是亦大抵何レノ邦國ニモ在ル所ニシテ或ハ之ヲ別テ陸軍及ヒ海軍
ノ二トスルモノアリ

三、司法 是亦何レノ邦國ニモ在ル所ニシテ主トシテ裁判事務ヲ取り扱フモ
ノナリ

四、財政 財貨ニ關スルコトヲ掌トル

五、教育及ヒ宗教 此二者ハ相兼スルモノ多シ

六、郵便、電信、及ヒ鐵道 國ニ由リ郵便、電信ノ二者ナートシ鐵道ハ別ニ之ヲ取
リ扱フモノアリ或ハ全ク之ナキ邦國モアリ

七、銀行 銀行ノコトヲ以テ別ニ一箇ノ事務トスル事務邦國アリ

八、農工商ニ關スルコト

九、植民事務 コハ各國普通ノモノニ非ス然レトモ英吉利、西班牙等ニ於テハ
之ヲ以テ一箇ノ事務トセリ

右列舉シタルモノハ單ニ普通ノ例ヲ示シタルノミ然レトモコハ國家ノ使
宜ニ出ツルモノニシテ固ヨリ法理上ノ區別ニ非ラレハ從ヒテ特ニ説明ナ

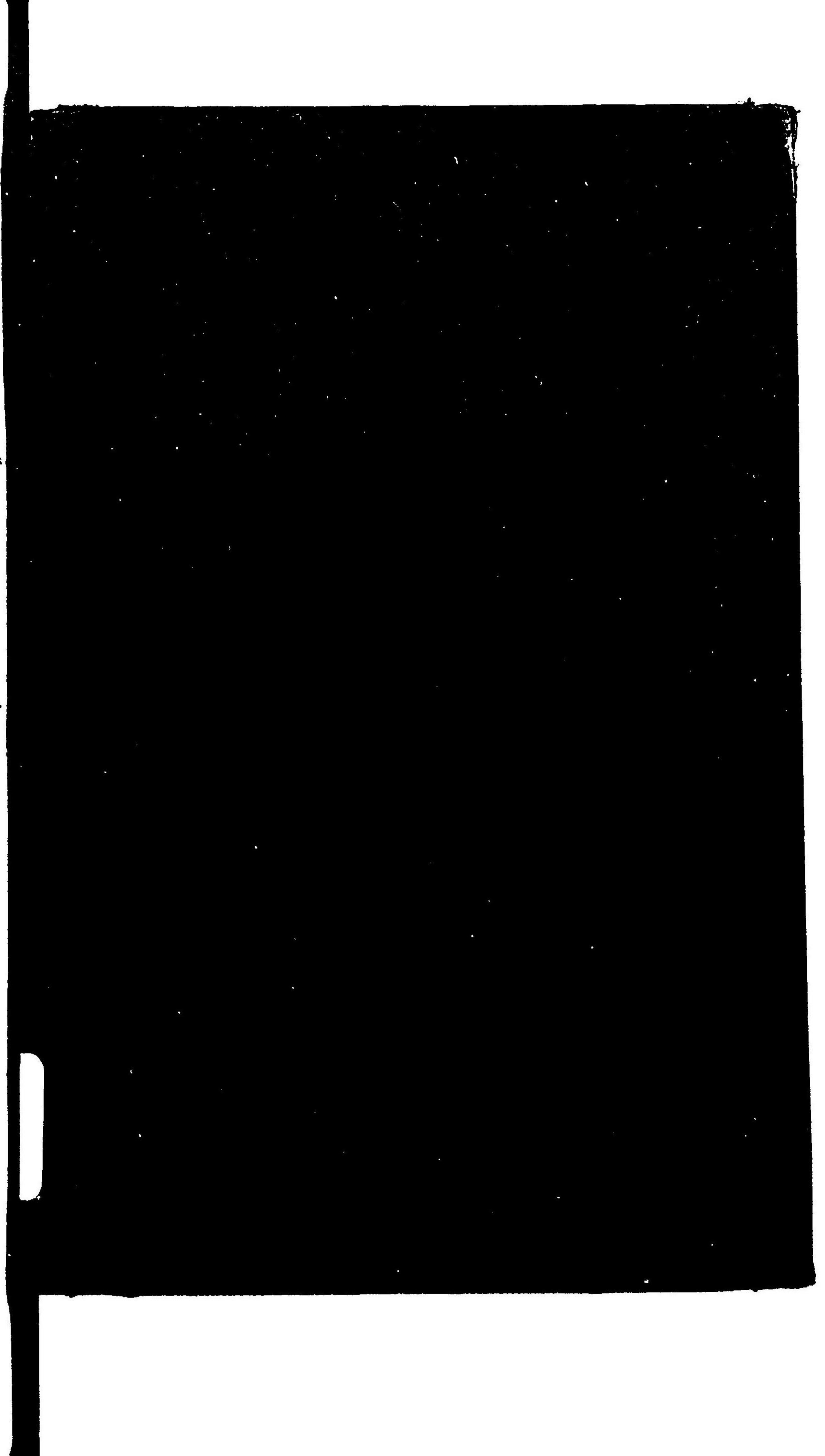
要ス可キモノアラサルナリ

八二

憲法原論終

六十六

14
246



14

246

031490-000-2

14-246

憲法原論

大津 麟平/述

M24?

BBE-0089



